

HD-POS

HD-POSユーザーマニュアル
Ver 2.0
(BCPOSバージョン)

BUSICOMTM

目次-①

■ ■ 共通項目偏 ■ ■

目次-①	1
目次-②	2
HD-POS Map(ハンディPOS)	3
HD-POS Map(ハンディ業務)	4
ハンディ概要-1	5
ハンディ概要-2	6
ハンディ電池交換・表示設定・音量設定 ..	7
日付・時刻設定	8
□□インストール設定・マスタ作成□□	
ドライバのインストール-①	9
ドライバのインストール-②	10
ハンディターミナルの接続と確認-①	11
ハンディターミナルの接続と確認-②	12
ハンディターミナルの接続と確認-③	13
機種設定(BCPOS)	14
マスタ作成-解説(BCPOS)	15
マスタ作成(BCPOS)	16
マスタ受信(HD-POS)	17

■ ■ ハンディPOS偏 ■ ■

モバイルプリンタ

ハンディPOS各種設定-①	21
ハンディPOS各種設定-②	22
モバイルプリンタ接続設定	23
モバイルプリンタの複数台使用	24
レシート印字見本他サイズ等	25
レシートヘッダファイルの作成	26
レシートヘッダファイル送信(BCPOS) ..	27
レシートヘッダファイル受信(HD-POS) ..	28

ハンディPOSオペレーション

販売-①(商品の読み込み)	31
販売-②(精算)	32
販売-③(割引処理)	33
返品処理・予備コード	34
直前明細取消し・現在伝票取消し	35
HD-POS(販売)データの強制削除	36
プリンタ送信エラー	37

データ送信・取込み・調整・反映 (ハンディPOS偏)

ハンディデータ処理画面(BCPOS)	39
ハンディデータ送信(ハンディPOS)	40
データ取込み反映-①(BCPOS)	41
データ取込み反映-②(BCPOS)	42
ハンディPOSデータフォーマット	43

目次-②

■■ ハンディ業務偏 ■■

業務メニューオペレーション	
ハンディ業務メニュー(概要-1)	47
ハンディ業務メニュー(概要-2)	48
業務データの全件削除	49
入力モード設定(各種業務)	50
バーコード識別設定	51
日付・時刻設定	52
(棚卸開始前に必ず行う)	
例)在庫データ読取り-①	53
例)在庫データ読取り-②	54
例)在庫データ読取り-③	55
(履歴順/修正・削除)	
例)在庫データ読取り-④	56
(読取り/修正・削除)	
例)在庫データ読取り-⑤	57
(マイナス読取り)	

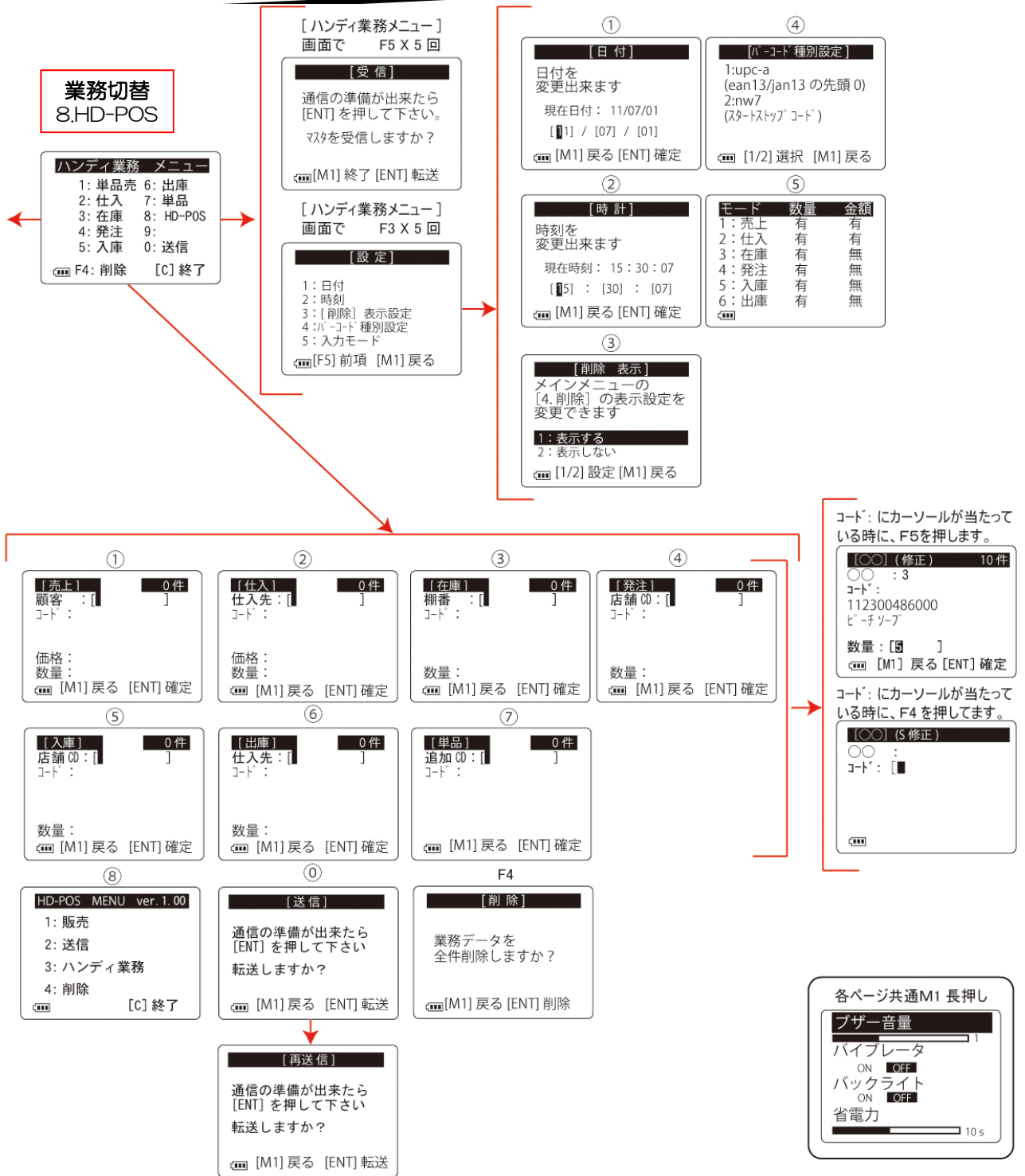
データ転送・取込・調整・反映 (在庫)	
ハンディデータ転送-①(BCPOS)	59
ハンディデータ転送-②(HDPOS)	60
ハンディデータ再転送	61
ハンディデータ取込み-①(BCPOS)	62
ハンディデータ取込み-②(BCPOS)	63
ハンディデータ取込み-③(BCPOS)	64
不要データの削除	65
棚卸データ差分調整	66
棚卸データ修正	67
理論在庫と実在庫の比較	68
実在庫の反映準備	69
ハンディデータの反映・在庫金額の更新	70
棚卸データのTenpoVisor送信	71
帳票関連-①	72
帳票関連-②	73

データ送信・取込み・調整・反映 (売上・仕入・移動偏)	
売上データの追加項目設定	75
売上,仕入,移動(データ取込み)	76
売上,仕入,移動(ハンディデータの反映-①) ...	77
売上,仕入,移動(ハンディデータの反映-②) ...	78
NonPLU機能概要	79
NonPLUマスタ作成 (BCPOS) -① ..	80
NonPLUマスタ作成 (BCPOS) -② ..	81
NonPLUマスタ受信 (HD-POS)	82
NonPLU設定	83
サポート	84

HD-POS Map(ハンディ業務)

HD-POSと、ハンディ業務の切替は、各TOPページから切り替える事が可能です。

ハンディ業務



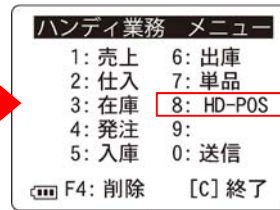
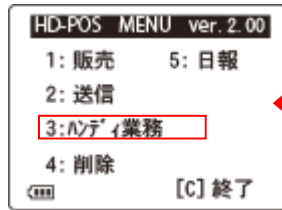
階層の深い機能等、未掲載の機能がございます。

ハンディ概要-1

HD-POSで利用するハンディの各ボタンの主な機能解説。
及び、TOPメニュー画面の切替。

■ 業務メニューの切替

HD-POS MENU TOP画面で、**3** を押して、「ハンディ業務メニュー」に切替。



ハンディ業務メニューTOP画面で、**8** を押して、「HD-POS」に切替。

■ スキャン
【共通】

■ M1
【共通】
・戻る
・長押しでハードウェア設定
【ハンディPOS】
・商品コード入力画面
では伝票取消し

■ BS/C
【共通】
・コード・金額・数量の
削除、長押しでクリア
・印刷の中断

■ F1
【ハンディ業務】
・修正画面で明細削除

■ F2
【ハンディPOS】
・預かり画面で、現金・売掛・
クレジットの切り替え

■ F5
【ハンディPOS】
・商品入力画面で最新
明細1行取消し
【ハンディ業務】
・各種業務の商品読取画面
でコード読取修正
【共通】
・TOP画面で5回押して
マスタ受信設定

■ スキャン
【共通】

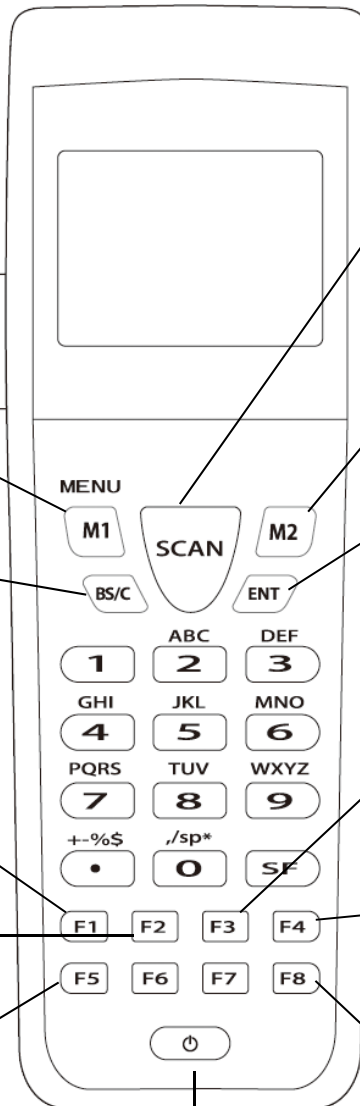
■ M2
【ハンディPOS】
・精算

■ ENT
【共通】
・決定

■ F3
【共通】
・TOP画面で5回押して
設定画面
【ハンディ業務】
・各種業務の商品読取画面
で数量マイナス切替

■ F4
【ハンディ業務】
・TOP画面でデータ削除
・各種業務の商品読取画面
で履歴修正

■ F8
【ハンディPOS】
商品コード入力画面で、
返品モード・通常モード
の切替



■ 電源ボタン

※注意

ハンディターミナルの解説には、HD-POS (BHT-900) を使用しております。
HD-POSワイド (BHT805) は、ボタン配置等が異なります。
また、モバイルプリンタについてもイラストや写真が異なる事がございます。

ハンディ概要-2

HD-POS対応、ハンディターミナルのハードウェア機能概要。

■ 接続



USBケーブルで送受信
(クレードル別売り有り)

■ 電源

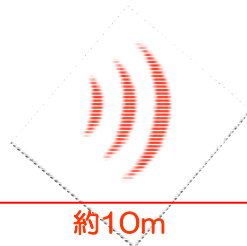


バッテリーは、安価なeneloop。
(USBケーブル接続時に充電)
※アルカリ乾電池対応

■ Bluetoothによるモバイルプリンタ接続 (ハンディPOS利用時使用)



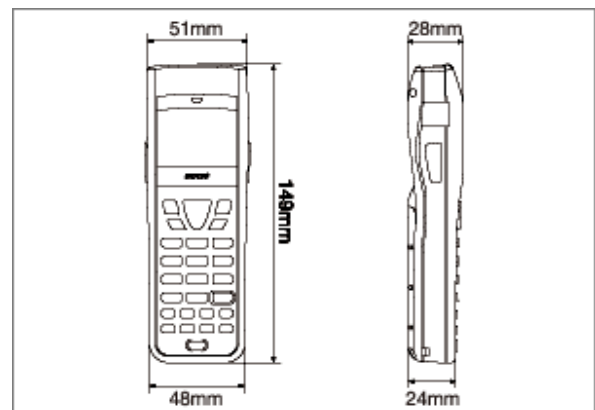
Bluetooth通信によるモバイルプリンタの接続で
レシートの発行が可能。※1



プリンタ1台に対して、
約3台程度のハンディPOS接続が可能。※2

※1 Bluetoothの通信距離
Class1・・・およそ100m程度、
Class2・・・およそ10m程度、
Class3・・・およそ1m程度となっており、
Class2を使用しているので、10m程度となります。

※2 Bluetoothの規格上、最大1：7の接続が
可能となっていますが、3台まで同時接続をし、
同時にプリントした場合、3台目にはHT側の送信
タイムアウトになる場合がございます。
(再送信可能)



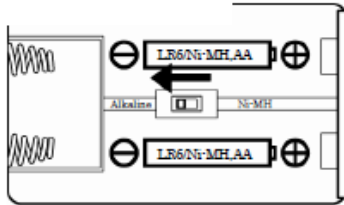
ハンディ電池交換・表示設定・音量設定

■ 電池交換

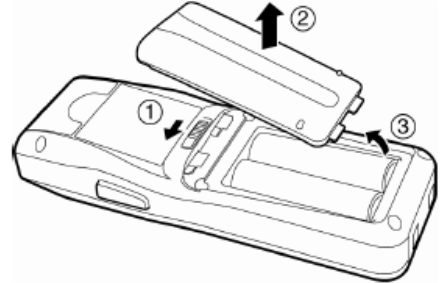
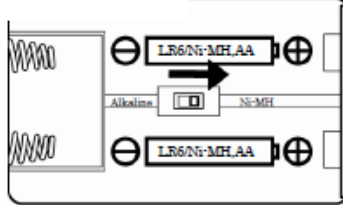
- ① 電池カバーロックを矢印方向にスライドして、電池カバーをはずします。
- ② 電池の種類にあわせて電池種類切り替えスイッチを切り替えます。

【重要】 電池残量表示や充電機能を正しくご使用いただくために、切り替えスイッチを必ずご確認ください。

アルカリ乾電池の場合（左）



eneloopの場合（右）



【POINT】

長期間使用しない場合は過充電を防ぐために、本体をケーブルから外して保管ください。
また、液漏れ防止のために電池を抜いて保管することをお勧めします。
電池を抜いてもプログラムは残りますが、再び使用する際に日時設定を求められる場合があります。

※注意 HD-POSワイド（BHT805）は、充電電池方式になります。

■ 各種設定変更

- ① 電源がONの状態、**M1** を長押しします。各種設定画面に切り替わります。

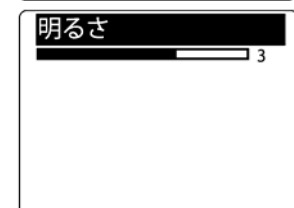
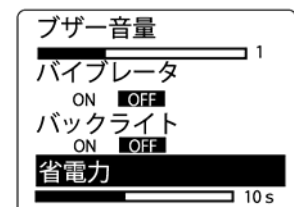
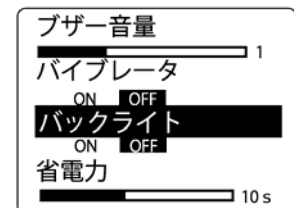
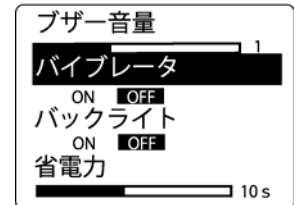
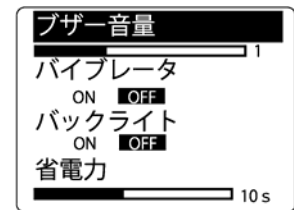
↑ **F5** ↓ **F6** ボタンで、右図のように設定項目が黒地に白文字で表示されます。

「ブザー音量」>「バイブレータ」>「バックライト」>「省電力」>「明るさ」

- ② 変更したい項目が、黒地に白文字で表示された所で、**F7** **F8** ボタンで、下記項目を参照しながら設定してください。

- ③ 設定が終了したら、**ENT** で戻ります。

項目	内容	設定値
ブザー音量	バーコードの読取り完了を知らせるブザー音量を設定します。 大・中・小・無音の4段階で調整できます。	無音→小→中→大
バイブレータ	バーコードの読取り完了を知らせるバイブレータのON/OFFを設定します。	ON、OFF
バックライト	バックライトのON/OFFを設定します。	ON、OFF
省電力	省電力のために未使用時の液晶画面のバックライトをOFFするまでの時間を設定します。	1秒単位 (最大30秒)
明るさ (バックライトON時)	液晶画面のバックライトの明るさを設定します。6段階で調整できます。	レベル 0~5

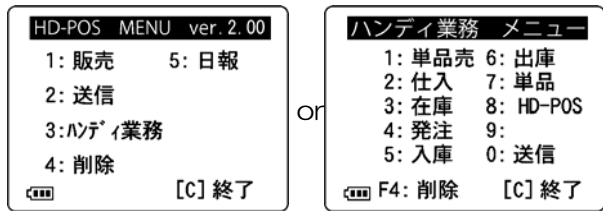


日付・時刻設定

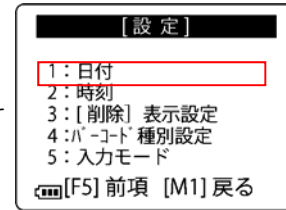
日付・時刻の設定を行います。
データ収集・処理日に関わってきますので、必ず設定を行ってください。

■ 日付設定

① TOP画面で、**F3** を5回押してください。



② 設定画面になります。
「日付」を選択してください。

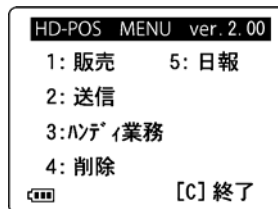


③ 日付設定画面になります。
(西暦下2桁/月2桁/日2桁の、yy/mm/dd表示です。)
テンキーを使い現在日付を入力します。項目ごとに、**ENT** を押して決定します。

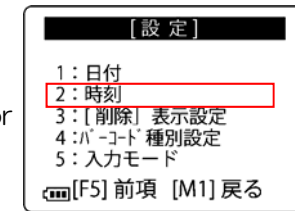
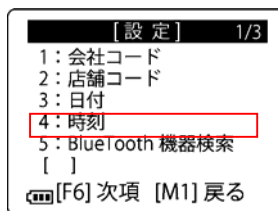


■ 時刻設定

① TOP画面で、**F3** を5回押してください。



② 設定画面になります。
「時刻」を選択してください。



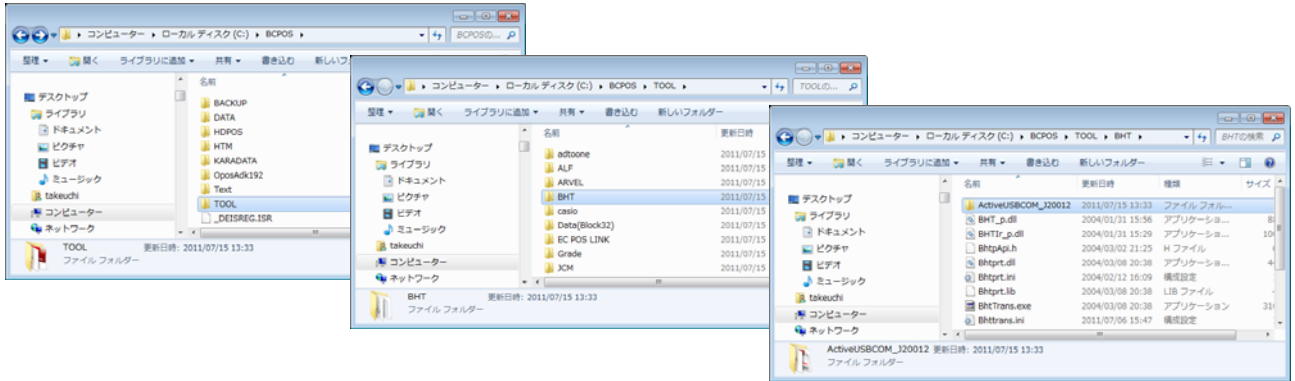
③ 時計設定画面になります。
(24時間表記で、各、時・分・秒2桁の表示です。)
テンキーを使い現在時刻を入力します。各、時・分・秒で、**ENT** を押して決定します。



ドライバのインストール-①

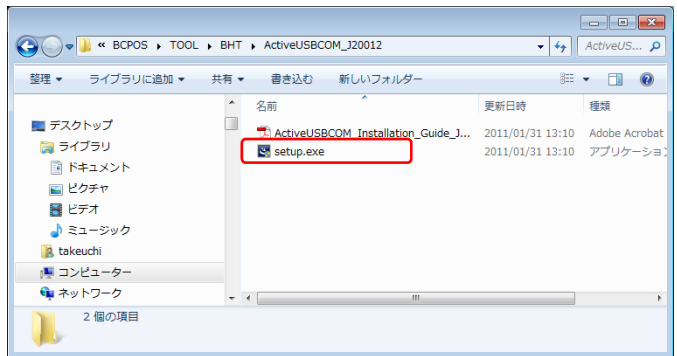
BCPOSでHD-POSのデータを受信したり、マスタ作成する為にBCPOSとHD-POSと通信できるようにする為のソフトウェアをインストールします。
※USBケーブルを接続する前にドライバをインストールする必要があります。

- ① コンピューター>ローカルディスク (C:) >BCPOS>TOOL>BHT
> ActiveUSBCOM_J20012フォルダを開きます。

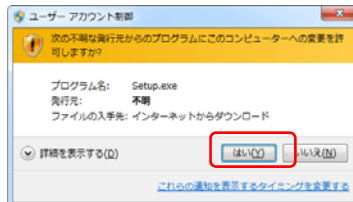


- ② ActiveUSBCOM_J20012フォルダ内の、「setup.exe」を実行します。

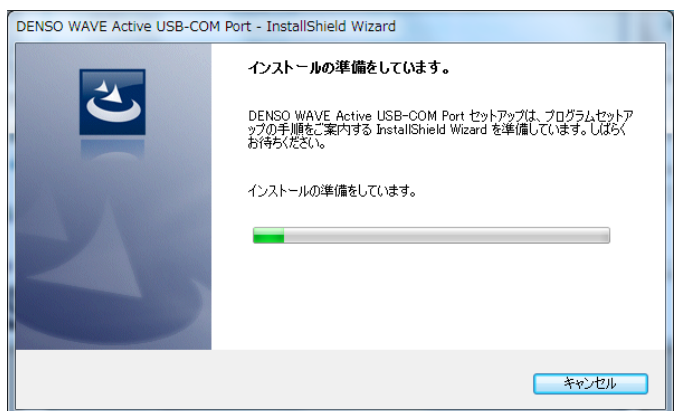
WindowsXPの場合にはインストール、詳細なインストール手順は、同フォルダ内の「ActiveUSBCOM Installation Guide_J.pdf」をご参照ください。



※Windows7やVISTAの場合には「ユーザーアカウント制御」のメッセージ画面が表示される場合がありますが「はい(Y)」を選択して下さい。



- ③ インストールの準備が表示されます。



ドライバのインストール②

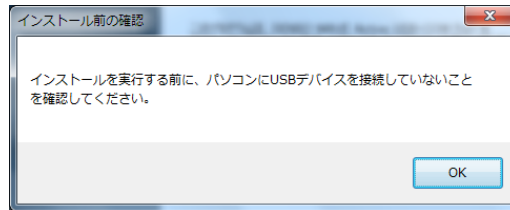
- ④ InstallShieldのウィザード画面が表示されますので、「次へ(N)」を選択します。

【注意】

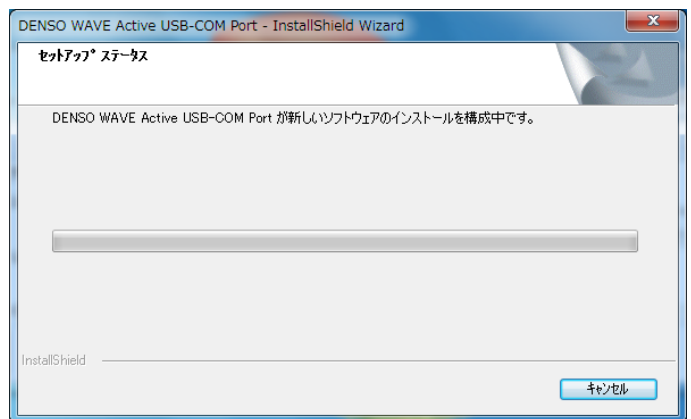
ハンディターミナルが接続されていないことを確認してください。



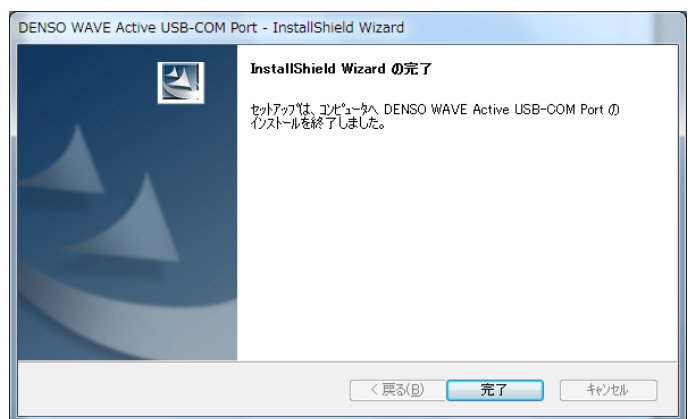
- ⑤ インストールするデバイスがPCに接続されていないことを確認して「OK」を押して下さい。



- ⑥ インストールが継続します。



- ⑦ インストールが完了しましたら「完了」を押します。



ハンディターミナルの接続と確認-①

ハンディターミナルをパソコンに接続します。

- ① HD-POSに電源が入っていない事を確認して、パソコンとハンディターミナルを付属のUSBケーブルで接続します。

接続が終わりましたら、HD-POSの電源を入れてください。

※パソコンとUSBケーブルで接続されることで、データ通信が可能となります。

また、充電電池（eneloop）を使用している場合には、同時に充電を行います。

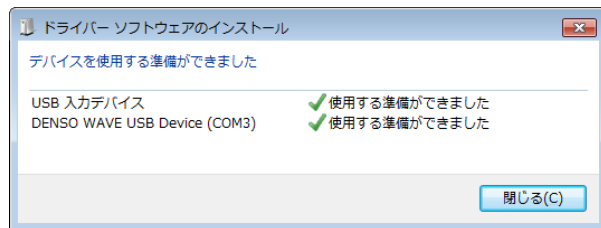
※注意 HD-POSワイド（BHT805）は、クレードル接続になります。



- ② パソコン画面右下に右図が表示されます。（表示は、初回接続時のみ）



- ③ 続けてパソコン画面中央に、右図が表示されハンディターミナルをパソコンで利用する準備が整いました。（表示は、初回接続時のみ）



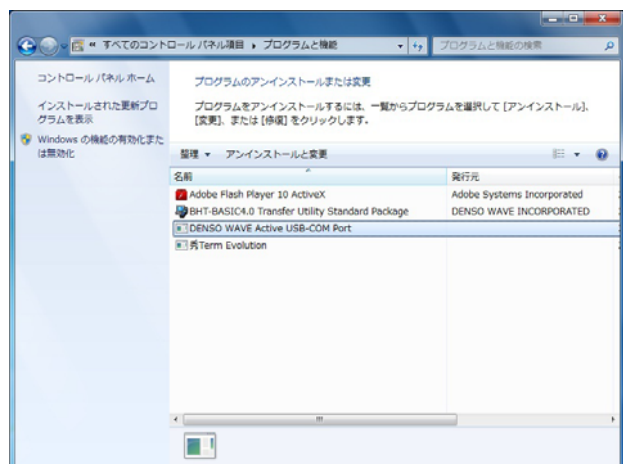
以降、パソコンとハンディターミナルでのデータ通信や、充電電池（eneloop）の充電の際には、付属のUSBケーブルを接続してください。

【注意】

パソコンのUSBケーブルの差込口（ポート）を変更すると、再設定が必要になりますので理由なく接続ポートを変更しないでください。

■ USBポートを変更した場合の再設定手順（USBケーブルの差込口を違う場所に差した場合）

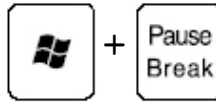
- ① コントロールパネル→プログラムの追加と削除を開きます。（Windows7の場合はプログラムと機能）
- ② 「DENSO WAVE Active USB-COM Port」をアンインストールします。
- ③ 再起動のメッセージが表示されますので、ハンディターミナルを接続していない状態で再起動します。
- ④ 再度P-8からの手順でセットアップを行ってください。



ハンディターミナルの接続と確認-②

正しくデバイスがインストールされましたら、COM番号の設定を確認する必要がありますので、「デバイスマネージャー」を起動します。

- ① キーボード下部左側のWindowsキーを押しながらキーボード上部右上Pauseを押します。
(機種により配置が違う場合がございます。)

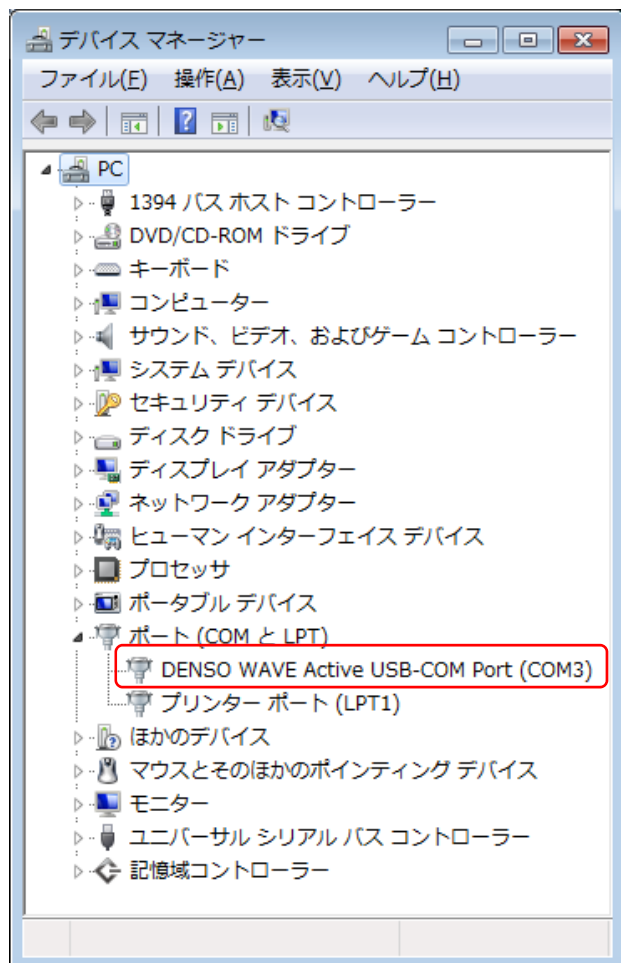


- ② システム情報の左上部「デバイスマネージャー」を起動します。



- ③ デバイスマネージャーが開きますので、
▷ポート(COMとLPT)を確認すると「DENSO WAVE Active USB-COM Port(COM●)」と表示されます。

COMの後にある数字(上記●)を確認後、記録して下さい。

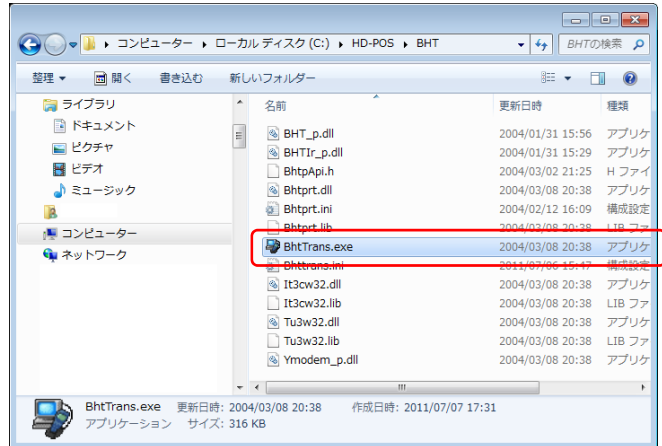
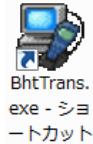


※上記図は一例です、お客様の環境によりCOMの番号は変わります。

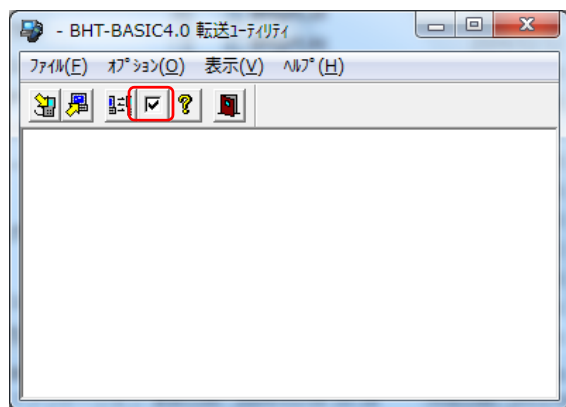
ハンディターミナルの接続と確認-③

- ④ コンピューター>ローカルディスク (C:) > BCPOS>TOOL>BHTフォルダ内の「BhtTrans.exe」を起動します。

※この際に、マウスを、右クリック>送る(N) >デスクトップ(ショートカットを作成してください。)で、ショートカットの作成を推奨します。

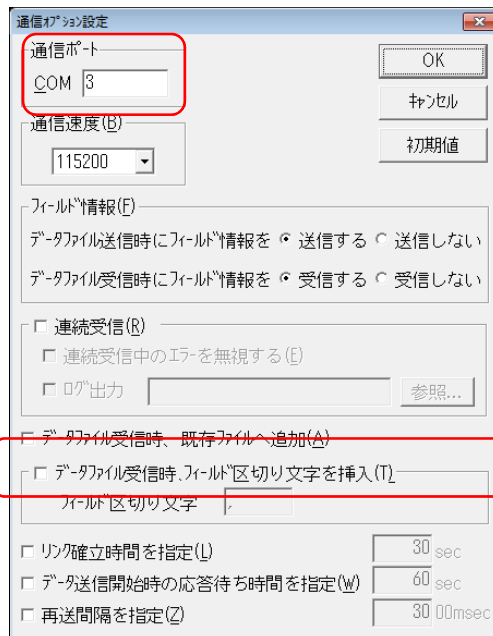


- ⑤ ボタンをクリック、または「オプション」から「通信オプション設定」をクリックします。



- ⑥ 「通信オプション設定」が開きますので、通信ポートのCOM欄を確認した番号（前項で確認後記憶した番号です。P-11 ③）に変更して「OK」を押して下さい。

が入っていない事をご確認ください。



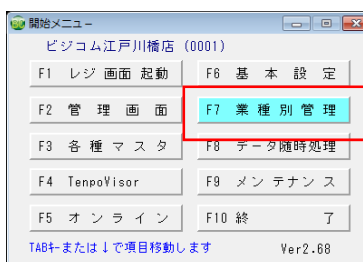
以上で設定は終了です。

※上記図は一例です、お客様の環境によりCOMの番号は変わります。

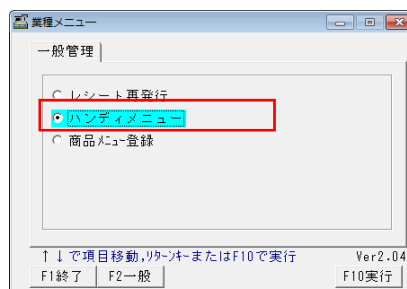
機種設定 (BCPOS)

BCPOSで使用するハンディターミナルの機種を設定します。

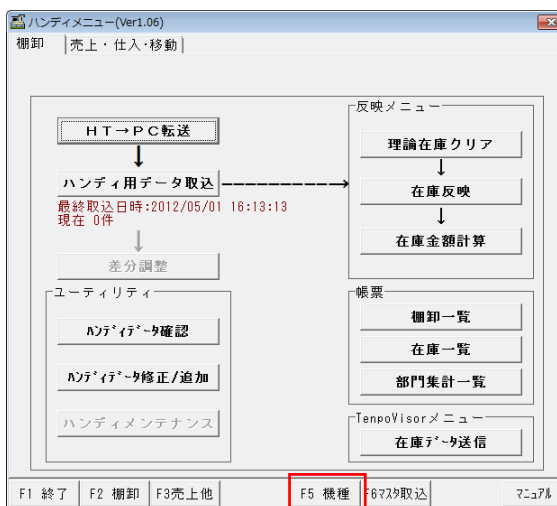
- ① BCPOS開始メニュー「F7 業種別管理」を押してください。



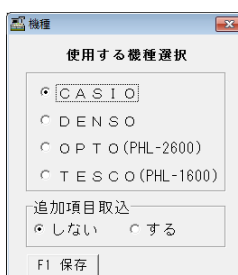
- ② 業種メニューが開きますので、「ハンディメニュー」を押してください。



- ③ ハンディメニューが開きます。下部タブの「F5機種」を押してください。



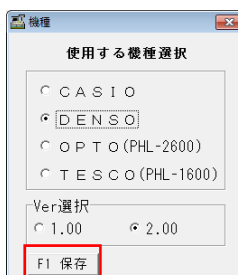
- ④ 機種が開きますので、「DENSO」を選択してください。



- ⑤ 「F1」をクリックして保存してください

上記設定は、同一機種のハンディターミナルを使用する場合には、初回のみで次回は不要です。

※Ver選択については、こちらのマニュアルはVer2.00ですので、Ver2.00を選択してください。



注意) 2012/06/末に、ハンディターミナルのプログラムバージョンがVer2.00へとアップグレードされています。(以前はVer1) Ver1.00とVer2.00が混在している場合はご相談ください。

マスタ作成-解説 (BCPOS)

HD-POSの商品マスタ登録上限は5万件になります。5万件を超える場合には、BCPOSの商品マスタを各種条件で範囲指定して作成してください。

基本的に、BCPOSに登録されている商品マスタが5万件以内であれば、「コード指定」で、ご利用中のバーコードを選択して、「F10 実行」してください。

■ ハンディ用マスタ作成画面解説

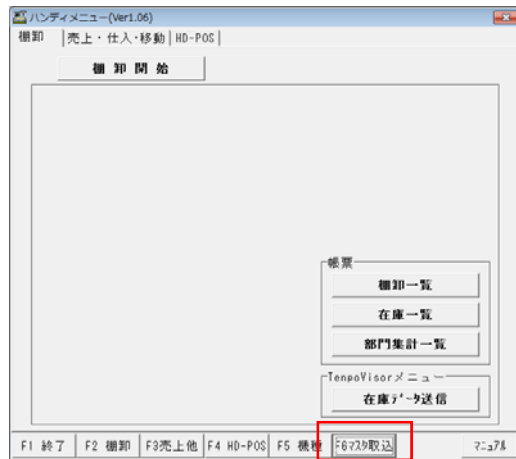
BCPOSに登録されている商品マスタから範囲指定してHD-POS用に出力する場合には下記を参照してください。

マスタ選択	ハンディターミナルを使った一般的な業務は商品を選択してください。 ※NonPLU商品の場合は、別途お問合せください。
コード指定	BCPOS商品コードの他に、読取るバーコードがある場合、種別を指定します。
部門指定	全部・・・すべてを対象とします。 指定・・・右側に部門選択ボックスが表示されます。指定できるのは単一部門のみです
商品コード範囲指定	全部・・・すべてを対象とします。 指定・・・商品コードの範囲を指定します。
枝番範囲指定	全部・・・すべてを対象とします。 指定・・・枝番の範囲を指定します。
発売日指定	全部・・・すべてを対象とします。 指定・・・発売日の範囲を指定します。
登録日指定	全部・・・すべてを対象とします。 指定・・・登録日の範囲を指定します。
価格設定日指定	全部・・・すべてを対象とします。 指定・・・価格設定日範囲を指定します。
ハンディ業務	売価以外に、ハンディ業務メニュー(仕入・入在庫)を、利用する際の単価を指定します。
販売価格指定	マスタから使用する販売価格を指定します。
仕入価格指定	販売原価として、使用する仕入価格を指定します。
無在庫出力	する・・・在庫が0の商品も範囲対象とします。 しない・・・在庫が0の商品を範囲から除外します。

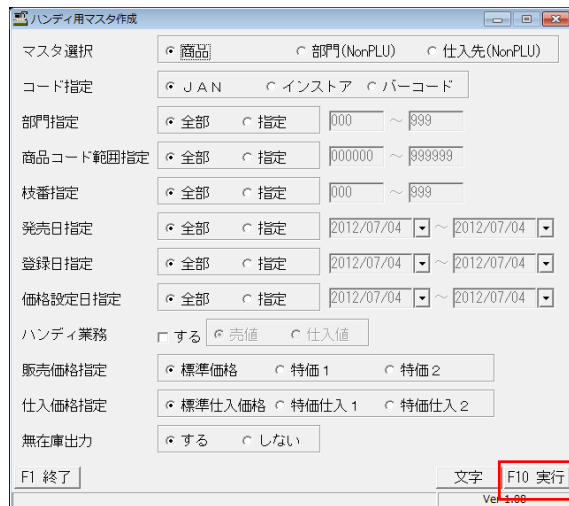
マスタ作成 (BCPOS)

HD-POSで利用する商品マスタをBCPOSで作成します。

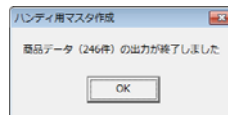
- ① ハンディメニューが開きます。
下部タブの「F6マスタ取込」を押してください。



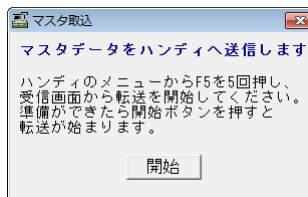
- ② 作成する条件を指定して「F10 実行」を押してください。



- ③ ハンディ用マスタ作成「商品データ (〇〇件) の出力が終了しました」と表示されますので「OK」を押してください。



- ④ マスタ取込画面が開きます。
開始を押してください。



- ⑤ YMODEM送信中と表示されます。
※送信処理は、30秒間開いています。
次項、HD-POSデータ受信を行う前に画面が消えた場合には、②～④の手順を繰り返してください。

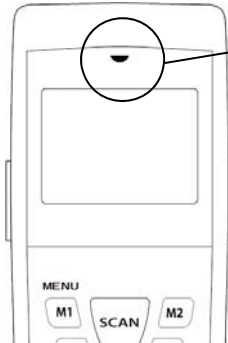


30秒の間に、次項のハンディターミナルの「商品マスタ受信」の実行が必要です。

商品マスタ受信 (HD-POS)

BCPOSで作成した商品マスタをHD-POSで受信します。

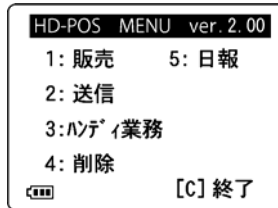
- ① HD-POSとパソコンをUSBケーブルで接続してください。



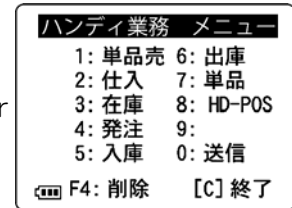
USBケーブルが接続されると、上部のランプが点灯します。



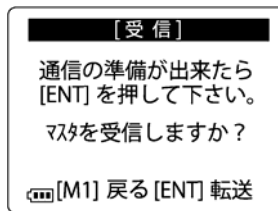
- ② HD-POSのTOPメニューから、**F5** を5回押してください。



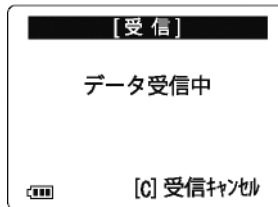
or



- ③ 受信画面になります。
前項のBCPOSのマスタ作成手順の準備ができたなら **ENT** を押してください。

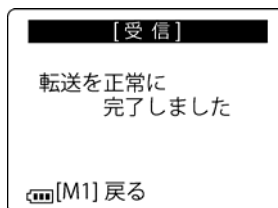


- ④ データ受信中表示され受信が開始されます。



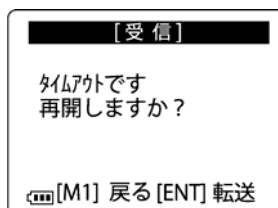
- ⑤ 転送を正常に完了しました。

以上でパソコンからHD-POSへのマスタ転送が終了です。



□ 転送エラー □

受信を正常に終了できない場合には、右図が表示されますので、原因を解明して、**ENT** を押し再度受信を行ってください。



HD-POS
■■■ハンディPOS偏■■■
(BCPOSバージョン)

BUSICOMTM

□ハンディPOS設定□

BUSICOMTM

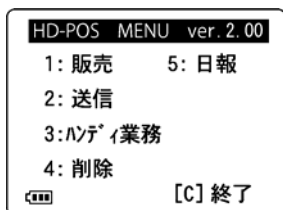
ハンディPOS各種設定-①

【POINT】

ハンディPOSの各設定画面への移行方法

・HD-POSのTOP[MENU]の画面で、**F3** を5回押して「設定」画面へ移行してください。（TOP[MENU]へは **M1** を数回押すことで戻ります）

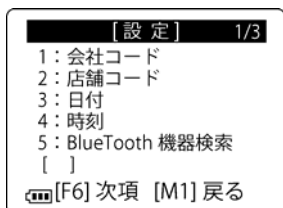
・「設定」画面は3ページ構成で、**F6** で次項、**F5** で前項へ移動します。



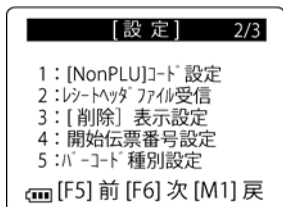
F3 を5回押す。



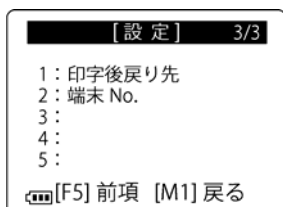
設定画面へ



F6 で次項。

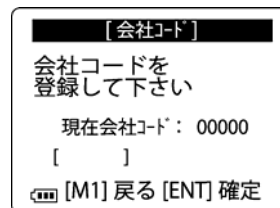


F5 で前項。



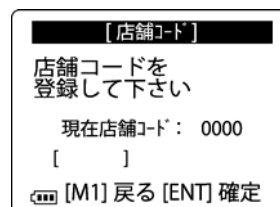
■ 会社コード設定

会社コードは、BCPOSでは特に利用しませんので任意の番号をつけてください。



■ 店舗コード設定

店舗コードは、BCPOSでは局番の代わりに利用可能です。



■ 日付設定 >P-8 参照

■ 時刻設定 >P-8 参照

■ Bluetooth 機器設定 >P-23 参照

■ NonPLUコード設定 >P-79 参照

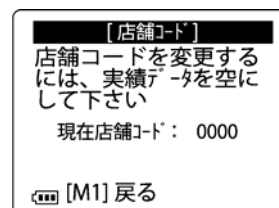
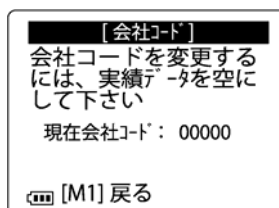
■ レシートヘッダ ファイル設定 >P-26 参照

■ [削除]表示設定 >P-36 参照

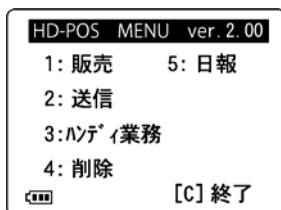
【POINT】

設定・変更時のエラー表示について

各種設定・変更時に右図（例）のように表示される場合、読取ったデータが未転送で、HD-POSに残っていますので、「HD-POS（販売）データの強制削除」P-34または「ハンディデータ転送」P-38を参照してデータを空にしてください。



ハンディPOS各種設定-②



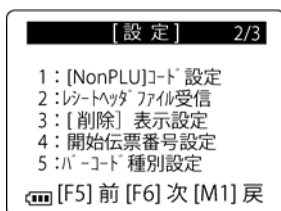
F3 を5回



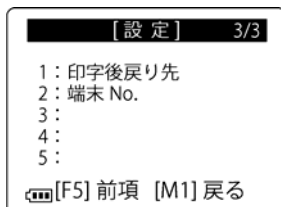
設定画面へ



F6 で次項

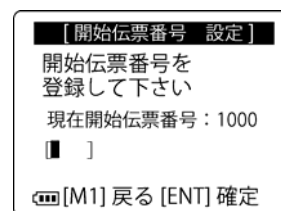


F5 で前項



■ 開始伝票番号設定

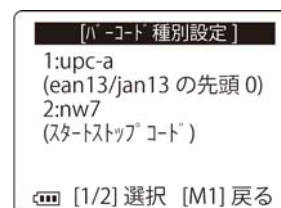
端末毎に、レシートの開始ナンバーを設定できます。



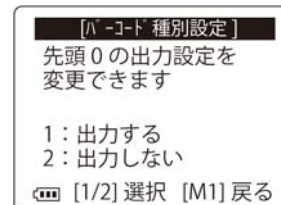
■ バーコード識別設定

バーコード読取時の出力設定をおこないます。

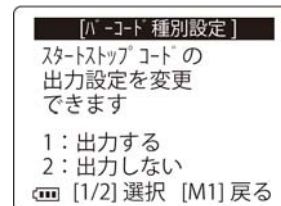
① バーコード識別設定画面になりますので、設定したいバーコードの種類をテンキーで選択してください。



② 1を選択した場合、upc-a、ean13/jan13の先頭の0を出力するかしないかの設定が可能ですので、テンキーで1or2を選択し、**M1** で戻ってください。



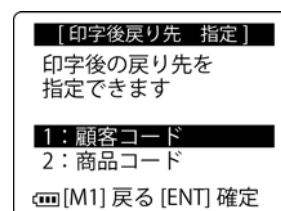
③ 2を選択した場合、スタートストップコードを出力するかしないかの設定が可能ですので、テンキーで1or2を選択し、**M1** で戻ってください。



■ 印字後(精算後)戻り先指定

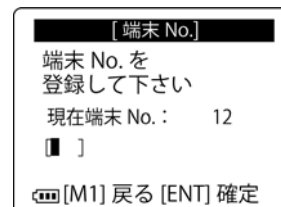
印字後(精算後)の戻り先を、顧客コードの読取または、商品コードの選択が可能です。

顧客カードの運用がない様であれば「商品コード」を選択してください。



■ 端末No

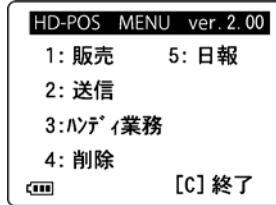
複数台使用時に端末毎にナンバーリングを行います。



モバイルプリンタ接続設定

レシート印字を行う、モバイルプリンタとBluetoothの接続設定を行います。
(レシートプリンタを利用しない場合には、設定は不要)

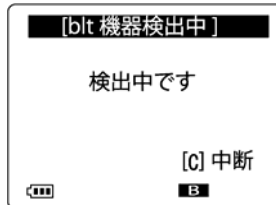
- ① HD-POSのTOP[MENU]画面で、**F3** を5回押してください。



- ② 設定画面になります。
(まだプリンタ接続されていないので、右図5: Bluetooth機器検索の下が、[]です。)
モバイルプリンタの電源がONになっている事を確認して、テンキーの **5** を押してください。



- ③ Bluetooth機器の検索が開始されます。
(この際に、スマートフォン等のBluetooth機器は電源をoffにするか、Bluetooth設定を解除する事を推奨します。Bluetooth機器が多数ある場合に正しく検出できない場合がございます。)



- ④ Bluetooth通信エリア内にある、機器が表示されます。(最大6機種)
12桁の英数字(アドレス)の下段にMobile Printerと表示されている番号をテンキーで押してください。
(1ページ目に無い場合には**F6**で、次項へ移動します。戻る場合は**F5**です。)



- ⑤ 設定画面に戻ります。
(右図5: Bluetooth機器検索の下に、[選択した機器のアドレス]が表示されます。)



以上で、設定は終了です。

■ モバイルプリンタの設定解除方法

- ① 上記手順①~③を行い、右図で、**M1** を押してください。



- ② 設定画面に戻ります。
(右図5: Bluetooth機器検索の下が、[]空欄に変更されます。)
空欄になっていない場合には、会計時にプリンタを検索します。



以上で、設定解除は終了です。

モバイルプリンタの複数台使用

HD-POSで複数台のモバイルプリンタが検出された場合の設定方法

■ プリンタ毎のBluetooth Addressの調べ方

- ① 電源OFF時に、プリンタの全面の「電源」ボタンと「FEED」ボタンを同時に押すことで、プリンタから「SELF-TEST」が印字されます。
印字されたSELF-TESTの「Bluetooth」欄に機器固有のBluetooth Addressが印字されています。

■ HD-POSとモバイルプリンタの個別設定

- ① 前項モバイルプリンタの接続設定①～④を行います複数台の、CITIZEN SYSTEMSが表示されますので、上記モバイルプリンタの「SELF-TEST」出力で設定したいアドレスのモバイルプリンタを選択してください。



レシート印字見本他サイズ等

レシートの印字見本となります。及びサイズ等

■ 販売

雑貨ビジコム 江戸川橋店 東京都文京区関口 1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル TEL : 03-5229-5190 FAX : 03-5229-5199 -----販売----- 12/06/14 19:15:40 No.0005 会員番号 :0001123456 担当 :0002 ----- (400000267000) アンティークフォーク 5 @185 925 (400000127035) アルティマスフーン 5 @125 625 ----- 小計 ¥1,550 合計 ¥1,550 お預り ¥2,000 お釣 ¥450 [12345678901234567890]	レシート ヘッダ 伝票番号 (通し番号) 担当者コード 顧客コード 予備コード (P32参照)
---	--

■ 販売 (返品)

雑貨ビジコム 江戸川橋店 東京都文京区関口 1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル TEL : 03-5229-5190 FAX : 03-5229-5199 -----返品----- 12/06/14 20:07:00 No.0015 会員番号 :0001123456 担当 :0002 ----- (400000267000) アンティークフォーク -5 @185 -925 (400000127035) アルティマスフーン -5 @125 -625 ----- 小計 ¥-1,550 合計 ¥-1,550	予備コード (P32参照)
--	------------------

- ・クレジット精算の場合「クレジット」
- ・売掛精算の場合「売掛」と表示され、お預りは非表示です。

■ レシート用紙のサイズ

用紙幅 : 58mm、印字幅 : 48mm、外径 : 48mm

■ レシート用紙の交換

■ レシート用紙の注文方法

- ・電話FAX 0120-303041
- ・電子メール info@poscenter.jp
- ・インターネットでのご注文は

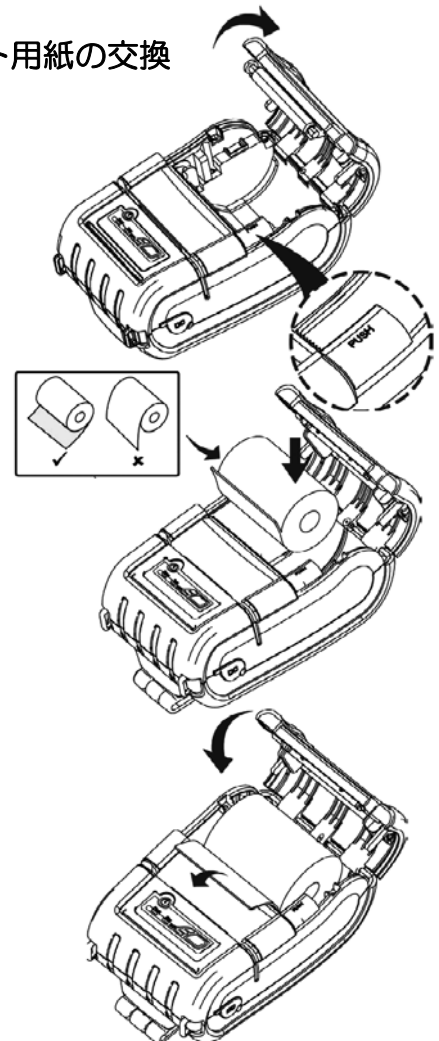
ST5848126-20K
 58mm×48φ×12mm 《ノーマル》
<http://www.poscenter.jp/SHOP/ST5848126-20K.html>

感熱レジロール 20巻
 1,785円(税込)



ST5848126-100K
 58mm×48φ×12mm 《ノーマル》
<http://www.poscenter.jp/SHOP/ST5848126-100K-2.html>

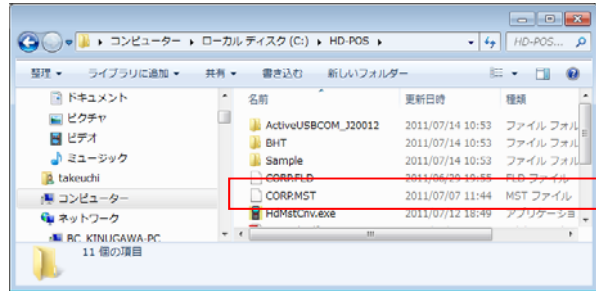
感熱レジロール 100巻
 8,400円(税込)



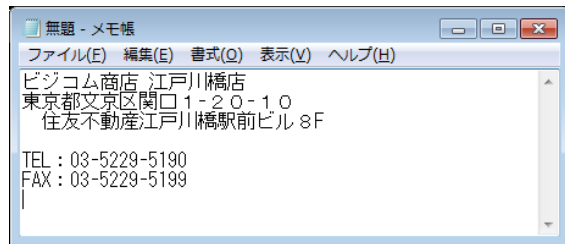
レシートヘッダファイルの作成

レシートヘッダをお店の名前に変更する為の設定になります。
HD-POSフォルダ内のCORP.MSTを編集して保存してください。

- ① コンピューター>ローカルディスク (C:) > BCPOS>HDPOSフォルダ内の「CORP.MST」をテキストエディタや、メモ帳で開き編集します。
CORP.MSTは32桁×6行の固定長になります。
※固定長で、32桁と指定された場合には、必ず32桁で終わる必要があります。
32桁未満で改行する場合には、32桁までスペースで埋める必要があります。



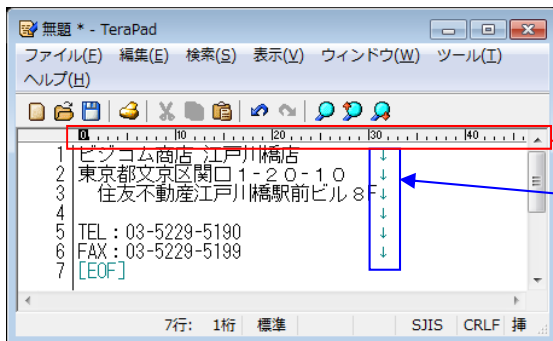
右図はメモ帳で開いた状態ですが、行の終わりを表す改行表示がないため、どこまで入力したのかの判別が難しいです。
(カーソルキーでカーソルを右に移動させて動くところまでが行の長さになります)



【一行目は、自動的にセンター合わせ、他は左合わせになります。】

【POINT】

テキストエディタ（ソフトウェア）で開いた場合には下図のように行の終わりを表す改行表示や、列数が表示されるので、編集が容易にできます。



列数が表示されています。

改行コードが表示されています。

レシートヘッダやマスタ作成で使用するのであれば、有料のテキストエディタは不要です。
インターネットで検索すると無料のものが沢山あります。
検索例>テキストエディタ フリー、テキストエディタ 無料、等

代表的な無料テキストエディタ

• Terapad • サクラエディタ • NoEditor • EmEditor • • • • 等

- 編集は、改行コードの列以内で行ってください。
- 行数は、6行までです。
- 改行コードは必須です。

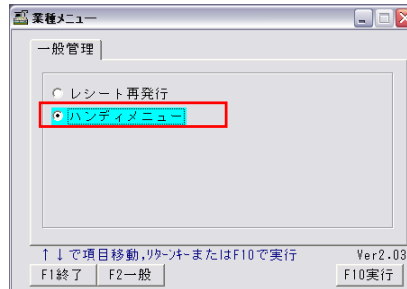
レシートヘッダファイル送信 (BCPOS)

作成したレシートヘッダファイルをHD-POSへ反映させます。

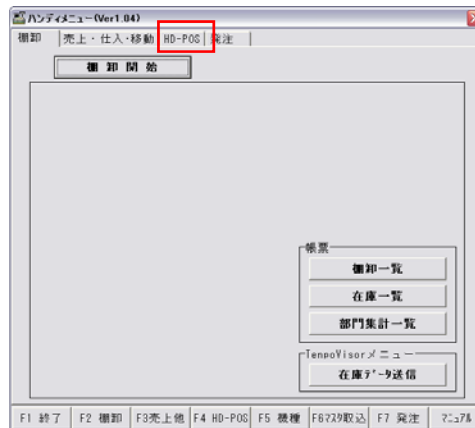
- ① BCPOS開始メニュー「F7 業種別管理」を押してください。



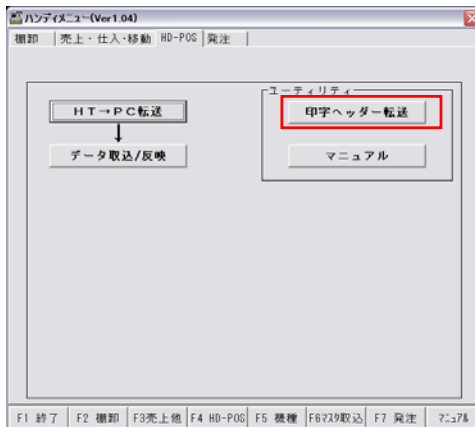
- ② 業種メニューが開きますので、「ハンディメニュー」を押してください。



- ③ ハンディメニューが開きます。上部タブの「HD-POS」を押してください。



- ④ HD-POS画面になります。「印字ヘッダー転送」を押してください。



- ⑤ YMODEM送信中と表示されます。
※送信処理は、30秒間開いています。
次項、レシートヘッダファイル受信を行う前に画面が消えた場合には、「印字ヘッダー転送」を押してください。

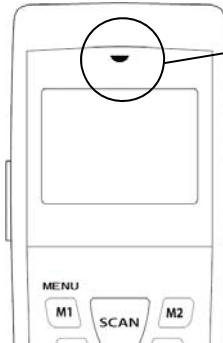


30秒の間に、次項のハンディターミナルの「レシートヘッダファイル受信」の実行が必要です。

レシートヘッダファイル受信 (HD-POS)

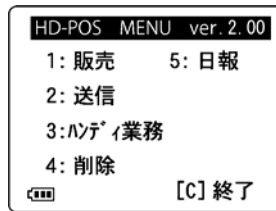
レシートヘッダ (店舗情報) をパソコンから受信します。

- ① HD-POSとパソコンをUSBケーブルで接続してください。

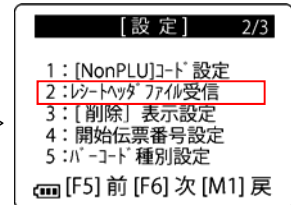


USBケーブルが接続されると、上部のランプが点灯します。

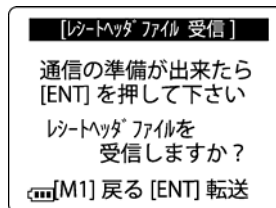
- ② HD-POSのTOP画面で、**[F3]** を5回押してください。



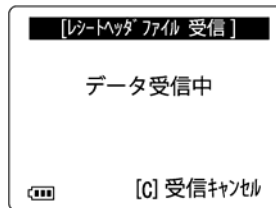
- ③ 設定画面になりますので、**[F6]** を押してください。
次項へ進みますので、**[2]** (レシートヘッダファイル受信) を押してください。



- ④ レシートヘッダ受信画面になります。
[ENT] を押してください。

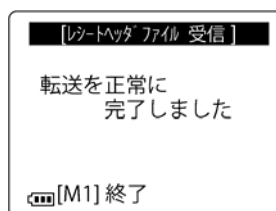


- ⑤ データ受信中表示され、受信が開始されます。



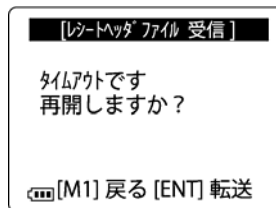
- ⑥ 転送を正常に終了いたしました。

以上でBCPOSからHD-POSへのレシートヘッダファイルの受信が終了です。



□ 転送エラー □

受信を正常に終了できない場合には、右図が表示されますので、原因を解明して、**[ENT]** を押して再度受信を行ってください。



□ハンディPOSオペレーション□

BUSICOMTM

販売-①（商品の読み込み）

販売の流れ（商品の読み込み）手順になります。
販売担当者の記録・顧客管理を行わない場合には、コード入力は不要です。

- ① TOP[MENU]画面で、**[1]** を押してください。

- ② 担当者コード（0～4桁）入力画面になります。
担当者コードを読み取るか、テンキーで入力して、**[ENT]**を押してください。
（担当者不要の場合には、担当者コードを入力しないで、**[ENT]** を押してください。）

- ③ 顧客コード（0～10桁入力画面になります。
顧客コードを読み取るか、テンキーで入力して、**[ENT]** を押してください。
（顧客管理不要の場合には、顧客コードを入力しないで、**[ENT]** を押してください。）

- ④ 商品入力画面になります。
商品コード（12桁）または、JANコード（0～13桁）をスキャンするか、テンキーで入力してください。
左図（顧客あり）、右図（顧客なし）

- ⑤ 商品が呼び出され、コード・JAN・商品名が表示され、カーソルが数量にあたります。
価格変更（値引）がある場合には **[M1]** で戻り価格を入力し、変更が無い場合には、数量を入力してください。

- ⑥ カーソルが数量にあたります。
同一商品の販売数が2個以上の場合は、数量を入力して、**[ENT]** を押してください。

← 1 伝票の合計金額

- ⑦ 同一伝票で、連続して販売を続ける場合、上記手順の④～⑥を繰り返してください。
小計（精算）をする場合、**[M2]** を押してください。

← 1 伝票の明細数

- ・ 処理可能伝票数9999伝票、1伝票の明細数99明細まで可能です。
- ・ ポイントの加算減算はできません。
- ・ データベースに無い商品の販売は、データの整合性が取れない為BCPOSに取り込む事はできません。

販売-②（精算）

販売の流れ（精算～レシート出力）手順になります。

- ① 小計画面になります。
 右上の件数は、読込んだ商品の合計数となります。
 小計は、読込んだ商品の合計金額になります。
 値引がある場合には、**[M1]**押し値引画面に移ります。お預かり金額を入力して **[ENT]**押しして下さい。
 ※割引は、次項を参照してください。

[売上]	1件
現金	[F2] 変更
小計:	¥ 4,480
値引き:	¥ -0
合計:	¥ 4,480
お預かり:	[]
[M1] 戻る [ENT] 確定	

[M1]
>

[売上]	1件
数量:	1個
小計:	¥ 4,480
値引き:	[]
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ② 現計画面になり、お釣金額を計算し表示されます。
 よろしいですか?と聞かれますので、問題が無ければ **[ENT]**を押して下さい。

[売上]	1件
現金	
合計:	¥ 4,480
お預り:	¥ 5,000
お釣り:	¥ 520
よろしいですか?	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ③ レシート印字が実行され、BlueTooth通信エリア内にプリンタを検索して行きます。
 （通信環境により数秒かかる場合がございます。）

[印刷]	
プリンタを探しています	
[C] 中断	
[B]	

- ④ 送信が完了すると接続を中断します。

[印刷終了]	
印刷終了中です	
[B]	

【POINT】

■ クレジット・売掛処理

小計画面で **[F2]** を、押す度に、現金>売掛>クレジット>現金と、ループします。
 ※売掛・クレジットは、現金の預かり表示はありません。

[売上]	1件
現金	[F2] 変更
小計:	¥ 4,480
値引き:	¥ -0
合計:	¥ 4,480
お預かり:	[]
[M1] 戻る [ENT] 確定	

[売上]	1件
売掛	[F2] 変更
小計:	¥ 4,480
値引き:	¥ -0
合計:	¥ 4,480
[M1] 戻る [ENT] 確定	

[売上]	1件
クレジット	[F2] 変更
小計:	¥ 4,480
値引き:	¥ -0
合計:	¥ 4,480
[M1] 戻る [ENT] 確定	

[売上]	1件
現金	[F2] 変更
小計:	¥ 4,480
値引き:	¥ -0
合計:	¥ 4,480
お預かり:	[]
[M1] 戻る [ENT] 確定	

【POINT】

■ 日報

- ① HD-POSのTOPメニューで「5.日報」
 ② 日報1/2が開きます。 **[F6]** で次ページ
 ③ **[F8]** で、プリント。プリントしない場合は、**[M1]** で戻ります。

HD-POS MENU ver. 2.00	
1: 販売	5: 日報
2: 送信	
3: Aディ業務	
4: 削除	
[C] 終了	

[売上日報 1/2]	
売上合計	¥0
売上点数	0
値引き数	0
値引き額	¥0
純売上	¥0
[M1] 戻る [F6] 次項	

[売上日報 2/2]	
現金	¥0
クレジット	¥0
売掛	¥0
現金収支	¥0
[M1] 戻る [F8] 印刷	

■ 簡易日報

担当者入力画面と顧客入力画面で、累計販売回数と累計販売金額の確認が可能です。

[売上]	5件
HD 合計売上:	¥ 184,480
顧客入力して下さい (0~10桁)	[]
[M1] 戻る [ENT] 確定	

販売-③（割引処理）

割引処理は、単品割引と小計割引の二種類があり、割引したい率を%で入力する事で、計算さし金額を変更します。

■ 単品割引

- ① 単品値引を行いたい商品画面で **M1** を押します。

[売上]	¥ 0
顧：0123456789	0行
コード：012345678901	
JAN：0123456789012	
croband kissho7ル-	
価格：¥1,000	
数量：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ② カーソルが移動しますので **F2** を押します。

[売上]	¥ 0
顧：0123456789	0行
コード：012345678901	
JAN：0123456789012	
croband kissho7ル-	
価格：[1000]	
数量：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ③ 値引率の入力欄が表示されます。

[売上]	¥ 0
顧：0123456789	0行
コード：012345678901	
JAN：0123456789012	
croband kissho7ル-	
価格：[1000] [] %	
数量：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ④ 値引率を入力します。

[売上]	¥ 0
顧：0123456789	0行
コード：012345678901	
JAN：0123456789012	
croband kissho7ル-	
価格：[1000] [10] %	
数量：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ⑤ 単品金額が値引率で計算されます。
ENT を押してください。

[売上]	¥ 0
顧：0123456789	0行
コード：012345678901	
JAN：0123456789012	
croband kissho7ル-	
価格：[900]	
数量：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ⑤ 数量にカーソルが移動しますので数量を入力して **ENT** を押してください。

[売上]	¥ 0
顧：0123456789	0行
コード：012345678901	
JAN：0123456789012	
croband kissho7ル-	
価格：¥ 900	
数量：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

■ 小計割引

- ① 小計画面で **M1** を押します。

[売上]	2件
現金	[F2] 変更
小計： ¥ 2,000	
値引き： ¥ -0	
合計： ¥ 2,000	
お預かり：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ② 値引画面になりますので **F2** を押します。

[売上]	2件
数量：2個	
小計： ¥ 2,000	
値引き：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ③ 値引率の入力欄が表示されます。

[売上]	2件
数量：2個	
小計： ¥ 2,000	
値引き：[] [] %	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ④ 値引率を入力します。

[売上]	2件
数量：2個	
小計： ¥ 2,000	
値引き：[] [10] %	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ⑤ 小計金額が値引率で計算されます。
ENT を押してください。

[売上]	2件
数量：2個	
小計： ¥ 2,000	
値引き：[200]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ⑤ 小計画面に戻りますのでお預かり金額を入力して **ENT** を押して下さい。

[売上]	2件
現金	[F2] 変更
小計： ¥ 2,000	
値引き： ¥ -200	
合計： ¥ 1,800	
お預かり：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

返品処理・予備コード

返品処理手順になります。基本的な手順は販売と同じですが、商品コード読取り画面で返品処理を選択します。

- ① 商品入力画面からしよりをを行います。
左図（顧客あり）、右図（顧客なし）
（販売画面の呼び出しは、P-29参照）

[売上]	¥ 0
顧：0123456789	0行
コード：[]	
JAN：[]	
価格：	
数量：	
[M1] 戻る [F8] 返品	

[売上]	¥ 0
顧：0123456789	0行
コード：[]	
JAN：[]	
価格：	
数量：	
[M1] 戻る [F8] 返品	

- ② 商品コード入力画面になります。
商品コードを読取らずに、**[F8]** を押してください。
返品モードが表示されます。

[売上]	¥ 0
顧：0123456789	0行
返品モードに 変更します	
数量：	
[M1] 戻る [F8] 返品	

- ③ **[F8]** を繰り返し押すことで、
返品モード>販売モード>返品モード>とループ
します。

[売上]返	¥ 0
顧：0123456789	0行
販売モードに 変更します	
数量：	
[M1] 戻る [F8] 販売	

[売上]	¥ 0
顧：0123456789	0行
コード：[]	
JAN：[]	
価格：	
数量：	
[M1] 戻る [F8] 返品	

- ④ 以降は、通常の精算と同じ処理を行います。
注）販売時に値引等行っている場合には、レシートを参照しながら、同じ処理を行ってください。

【POINT】

■ 予備コードの登録 ■

伝票単位で任意のコード（英数20桁）を登録でき、レシート最下部へ表示します。
また、BCPOSへデータ送信後はジャーナル点検で確認できます。

■ 予備コードの入力

- ①HD-POSの小計画
面で、**[F5]** を押します。

[売上]	2件
現金	[F2] 変更
小計：	¥ 2,000
値引き：	¥ -0
合計：	¥ 2,000
お預かり：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ②予備コード入力画面に
なります。

[売上]	2件
予備コード入力：	[]
現在予備コード：{なし}	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ③英数20桁まで入力
可能。**[ENT]** で決定

[売上]	2件
予備コード入力：	[12345678901234567890]
現在予備コード：{なし}	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ④小計画面に戻ります。

[売上]	2件
現金	[F2] 変更
小計：	¥ 2,000
値引き：	¥ -0
合計：	¥ 2,000
お預かり：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

■ 予備コードの訂正

- ①HD-POSの小計画
面で、**[F5]** を押します。

[売上]	2件
現金	[F2] 変更
小計：	¥ 2,000
値引き：	¥ -0
合計：	¥ 2,000
お預かり：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ②現在予備コードが表示
されています。

[売上]	2件
予備コード入力：	[]
現在予備コード： 12345678901234567890	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ③訂正コードを入力し
て**[ENT]** で決定

[売上]	2件
予備コード入力：	[12345678901234567890]
現在予備コード： 12345678901234567890	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

- ④小計画面に戻ります。

[売上]	2件
現金	[F2] 変更
小計：	¥ 2,000
値引き：	¥ -0
合計：	¥ 2,000
お預かり：[]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

直前明細取消し・現在伝票取消し

お客様の購入キャンセルでの伝票取消し、商品コードの読取りミスで直前の明細読取りをキャンセルする処理になります。

■ 一伝票内で、商品の読取りを間違っただけ等に直前の明細を取消します。

① 商品入力画面で、**F5**を押してください。

【売上】 ¥ 4,480
顧：0123456789 3行
コード：[]
JAN：0123456789012
crocband kisshoTM ル-
価格：¥ 4,480
数量：1
☰ [M1] 戻る [M2] 精算

② 実行する場合は **ENT** 戻る場合は、**M1**を押して実行してください。

【売上】 ¥ 4,480
直前の商品を
取消しますか？
☰ [M1] 戻る [ENT] 確定

③ 取り消した商品がわかるように表示はのこります。

【売上】 ¥ 4,480
顧：0123456789 3行
コード：[]
JAN：0123456789012
crocband kisshoTM ル-
価格：¥ 4,480
数量：1
☰ [M1] 戻る [M2] 精算

■ 現在処理している、伝票を取り消す場合の処理になります。

① 商品入力画面で、**M1**を押してください。

【売上】 ¥ 4,480
顧：0123456789 3行
コード：[]
JAN：0123456789012
crocband kisshoTM ル-
価格：¥ 4,480
数量：1
☰ [M1] 戻る [M2] 精算

② 実行する場合は **ENT** 戻る場合は、**M1**を押してください。

【売上】 ¥ 4,480
伝票を取消しますか？
☰ [M1] 戻る [ENT] 確定

③ 「取消しました」と表示され実行されました。

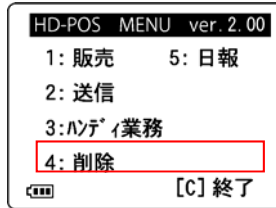
【売上】 ¥ 3,480
取消しました
☰ [M1] 戻る [ENT] 確定

HD-POS（販売）データの強制削除

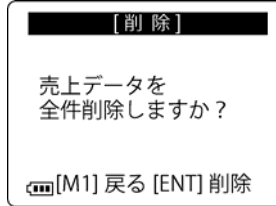
ハンディターミナルのスキャンデータを削除する場合の手順と非表示設定。

■ HD-POSの販売データを強制削除します。
（データ正常転送後に実績データは自動で削除されます。）

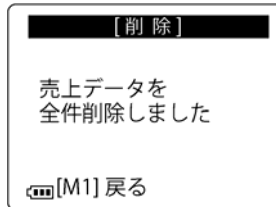
① TOP[MENU]の画面で、**[4]** を押してください。



② 売上データを全件削除しますか？と聞かれますので、実行する場合は **[ENT]** 戻る場合は **[M1]** を押してください。
実行すると、デフラグ中ですと表示が変わります。

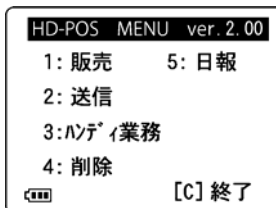


③ 売上データを全件削除しました。と表示され削除が実行されました。

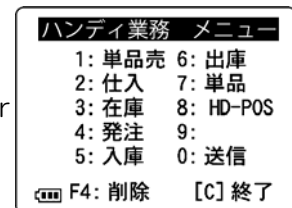


■ TOPメニューから削除メニューの表示を消します。（共通設定）

① TOP[MENU]の画面で、**[F3]** を5回押してください。



or

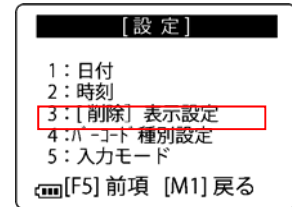
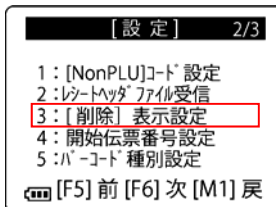


② HD-POSの場合、設定画面になりますので、**[F6]** を押してください。

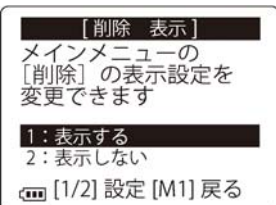


▽

③ **[3]** (削除表示設定) を押してください。



④ 「メインメニューの[削除]の表示設定を変更できます」と表示されますので、表示させない場合には **[2]** を、表示する場合には、**[1]** を押してください。

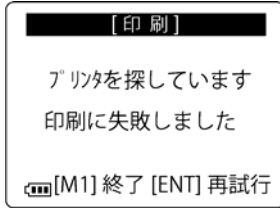


プリンタ送信エラー

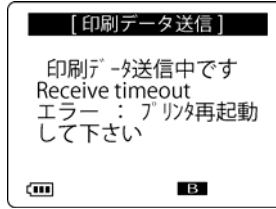
プリンタ送信エラーが起こった場合と、印刷の中断を実行する方法。

■ プリンタ送信エラー

BlueTooth通信エリア内にプリンタが無かったり、プリンタが正常稼動していない場合には、下図の表示がでます。データは残っていますので原因を解明して再度プリントを実行してください。



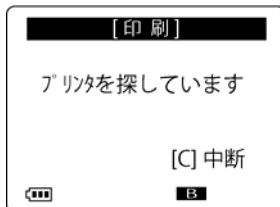
この表示の場合には、**[ENT]** で再送してください。



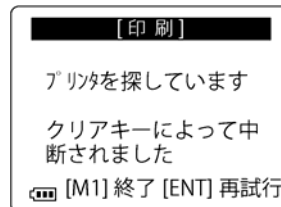
この表示の場合には、**[ENT]** を2回押して再送してください。

■ 印刷の中断

印刷を中断・取消しを行う場合は下記手順で実行してください。



印刷画面で、**[BS/C]** を長押しすると印刷を中断します。



[ENT] を押すことで、再印刷、M1終了で印刷を取り消します。

□データ送信・取込み・調整・反映□
(ハンディPOS偏)

BUSICOMTM

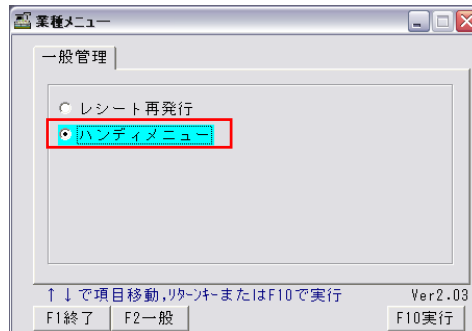
ハンディデータ処理画面（BCPOS）

HD-POSで行った販売データをBCPOSに転送・取込み・反映等を行うためハンディPOS画面を起動します。

- ① BCPOS開始メニュー「F7 業種別管理」を押してください。



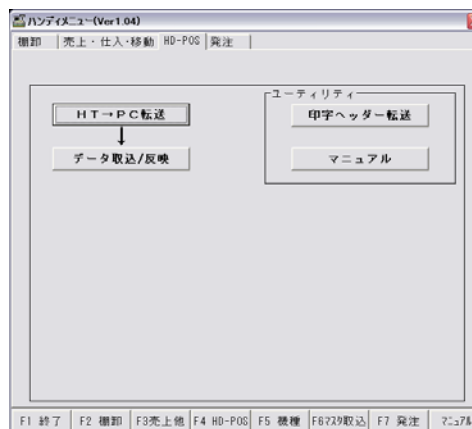
- ② 業種メニューが開きますので、「ハンディメニュー」を押してください。



- ③ ハンディメニューが開きます。上部タブの「HD-POS」を押してください。



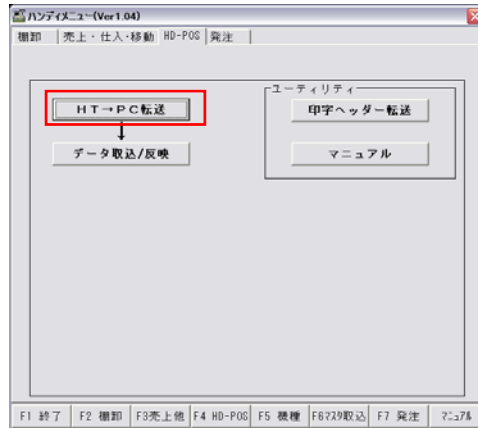
- ④ ハンディPOS画面になります。この画面上で、データの送信・取込み・反映・レシートヘッダの転送等を行います。



ハンディデータ転送（ハンディPOS）

HD-POSで行った販売データをBCPOSに転送します。
ハンディデータの転送は、BCPOSとHD-POS双方で操作を行います。

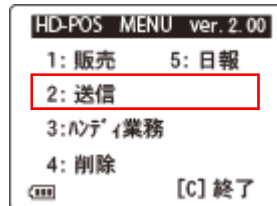
- ① HD-POSを、BCPOSにUSB接続してください。
- ② ハンディメニューの「HT→PC転送」ボタンを押してください。



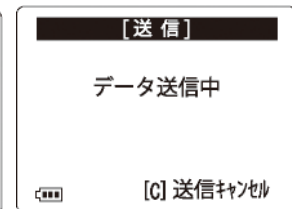
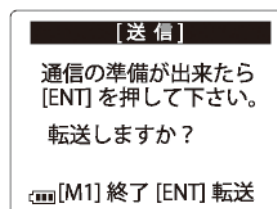
- ③ YMODEM受信中と表示されます。
※受信処理は、30秒間開いています。
下記HD-POSデータ送信を行う前に画面が消えた場合には、再度HT→PC転送ボタンを押してください。



- ④ HD-POSのTOPメニューから、送信を選択します。テンキーの「2」を押してください。

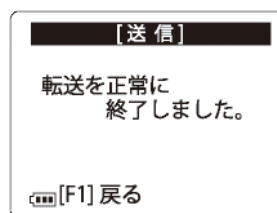


- ⑤ 転送しますか？と聞かれますので、「ENT」を押してください。データ送信中と表示され転送が開始されます。



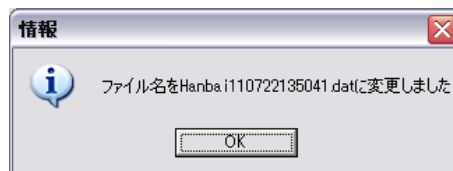
- ⑥ 転送を正常に終了いたしました。

以上でHD-POSからBCPOSへのデータ転送が終了です。次項で、送ったデータをBCPOSに反映させます。



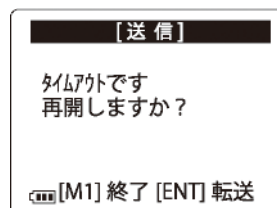
■ 転送終了表示（BCPOS）

転送が終了した時点で「hanbai*****.dat」に変更しましたと表示されます。ファイル名を確認し「OK」を押します。



■ 転送エラー

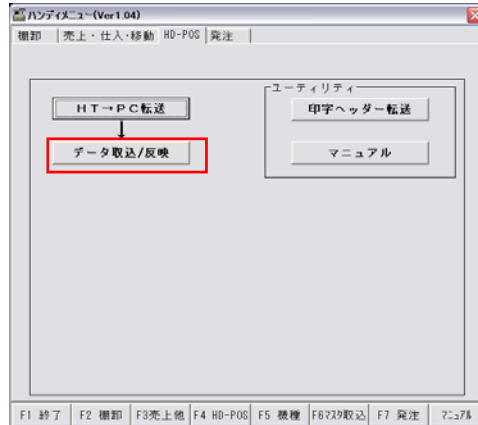
転送を正常に終了できない場合には、右図が表示されますので、原因を解明して、「ENT」を押して再度転送を行ってください。



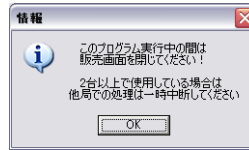
データ取込み反映-① (BCPOS)

BCPOSに転送されたハンディデータを取込み・反映を行います。
取込みはBCPOSとHDPOS双方で操作を行います。

- ① ハンディメニュー「データ取込/反映」を、押し
てください。



このプログラムにてデータ反映を実行する間は、
販売業務を閉じる必要があります。
BCPOSを複数台で使用されている場合は他局で
の処理は一時中断してください。



- ② HD-POS取込が開きます。F9 参照を押し、前項
で保存した「hanbai 0000000000.dat」を
選択してから開くを押してください。



【POINT】

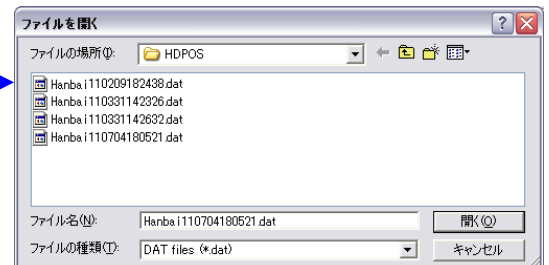
■ ファイルの選択方法

前項のハンディデータ転送で、転送が終了した
時点で「hanbai*****.dat」にファイル名が
変更されて保存されています。
(P-38転送終了表示参照)

- ファイル名の付け方
ファイル名は西暦下2桁月日時刻の法則で作成さ
れます。

例) 「2012年7月7日18時5分34秒」に転送

Hanbai120707180534.dat
西暦下2桁 日付 時刻



局番を指定することにより日報の局別集計や、ジャーナル点検にて端末毎の情報を確認することができます。

反映させる際の局番をハンディ本体に設定してある店舗コードと紐付けて反映させる場合は「局番はHD-POS
の店舗コード使用」にチェックを入れてください。

HD-POSの店舗コードが 0001=局1
0005=局5 として反映します。

チェックを外すと局番を直接入力でき、1~30の任意の局番で反映可能です。

「HD-POSの時刻で処理する」にチェックを入れると、ハンディで販売処理
を実際に行った時刻にてBCPOSへ反映されます。

チェックを外した場合には「F10 実行」を押して取り込みが処理された時点
のPCの時刻で反映されます。

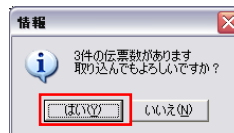


データ取込み反映-② (BCPOS)

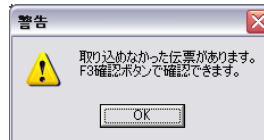
- ③ 反映する営業日付を決定したら、F10 実行を押してください。



- ④ 伝票件数が表示されます。件数が想定とおりであれば「はい」を押してください。



- ⑤ HDPOSで入力した商品コードがBCPOSに登録されていないような場合は、取込後に「警告」が表示されます。



「OK」を押してください。

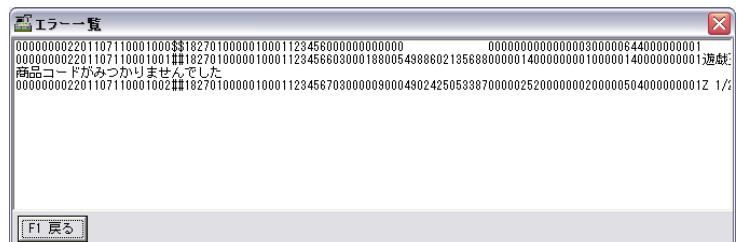
- ⑥ 「F3 確認」を押すとエラー理由が表示されます。



エラーデータについて

エラーがあった場合は、その伝票全体が取込されません。

エラー理由をご確認頂き、再度ハンディから入力して取り込みするか、BCPOSから直接販売処理を行ってください。



ハンディPOSデータフォーマット

伝票フォーマットになります。(構造体：固定長)

※出力時に項目をカンマ区切り可能

(設定はP-10ハンディターミナルの接続と確認-②下段)

No.	項目名	タイプ	桁数	位置	備考
1	会社コード	半角数字	5	1	ハンディ本体設定情報から
2	店舗コード	半角数字	4	6	ハンディ本体設定情報から
3	日付	半角数字	8	10	yyyymmdd
4	伝票No.	半角数字	4	18	0001~9999
5	明細No.	半角数字	3	22	伝票(\$\$)=000 明細(##)=001~099(レコード数)
6	処理区分	半角英数	2	25	伝票=\$\$ 明細=##
7	時分	半角数字	4	27	hhmm処理時分
8	処理種別1	半角数字	2	31	販売(01)のみ
9	処理種別2	半角数字	2	33	販売時(00) 返品時(03)
10	担当者コード	半角数字	4	35	0~4桁(右詰前0)
11	顧客コード	半角数字	10	39	0~10桁(右詰前0)
12	商品コード	半角数字	12	49	商品コード 12桁のみ 商品コード以外をスキャンした場合にも商品コードを記録する 未登録商品 = 000000000000 NonPLU = 000NONPLU000
13	JANコード	半角数字	13	61	JANコード 右詰左スペース
14	単価	半角数字	8	74	伝票=0埋め 明細=単価(右詰前0)
15	数量	半角数字	8	82	伝票=伝票内合計数量(右詰前0) 明細=単品数量(右詰前0)
16	合計金額	半角数字	8	90	伝票=伝票内値引前合計金額(右詰前0) 明細=単品合計金額(右詰前0)
17	原価	半角数字	8	98	商品マスタから原価欄を出力
18	税種別	半角数字	1	99	税種別(0:外税 1:内税 2:非課税)
19	単価修正	半角数字	8	107	小計値引金額 伝票=右詰前0 明細=0埋め
20	受取現金種別	半角数字	1	115	現金=1 売掛=2 クレジット=3
21	商品名	文字列	20	116	商品マスタから
22	予備コード	文字列	20	136	自由に付加できるコード
23	端末No	半角英数	2	156	端末No設定画面から入力(未設定時00)
24	デリミッタ	改行	2	158	改行(CrLf)

HD-POS
■■ハンディ業務偏■■
(BCPOSバージョン)

BUSICOMTM

□業務メニューオペレーション□

BUSICOMTM

ハンディ業務メニュー（概要-1）

各種業務データの読取りは、基本的に全て同じ操作方法になります。
（業務によって画面表示、読取りデータは変わります。）

■ 業務データの読取り（概要）

ハンディ業務メニューTOP画面から、行う業務をテンキーの数値入力で選択します。

ハンディ業務メニュー	
1: 単品売	6: 出庫
2: 仕入	7: 単品
3: 在庫	8: HD-POS
4: 発注	9:
5: 入庫	0: 送信
F4: 削除	[C] 終了

■ 売上

小計・現計等の伝票単位を持たせていない、売上管理。スピーディーな対応の求められる売り場での利用等。（伝票単位での管理、小計や預かり、現計等は、HD-POS機能をご利用ください。）

ハンディ業務メニュー	
1: 単品売	6: 出庫
2: 仕入	7: 単品
3: 在庫	8: HD-POS
4: 発注	9:
5: 入庫	0: 送信
F4: 削除	[C] 終了

【売上】		0件
顧客	:[]]
コード	:	
価格	:	
数量	:	
F4: 削除	[M1] 戻る	[ENT] 確定

● 読取データ

設定により、【顧客コード】または【担当者コード】
【顧客コード】（10桁or6桁）
※6桁の場合は反映時に店舗コード4桁を付加して反映。
【担当者コード】（1～5桁）
反映時の設定で、1～5桁の担当者コードとして反映。
【商品コード】（～13桁）
【販売価格】（～6桁）
【販売数量】（～5桁）

■ 仕入

納品された商品と個数を読取り、BCPOSに反映させます。仕入れ金額変更がある場合には、ハンディで金額を入力する事により、BCPOSのマスタを変更する事も可能です。

ハンディ業務メニュー	
1: 単品売	6: 出庫
2: 仕入	7: 単品
3: 在庫	8: HD-POS
4: 発注	9:
5: 入庫	0: 送信
F4: 削除	[C] 終了

【仕入】		0件
仕入先	:[]]
コード	:	
価格	:	
数量	:	
F4: 削除	[M1] 戻る	[ENT] 確定

● 読取データ

【仕入先コード】（4桁）
【商品コード】（～13桁）
【仕入価格】（～6桁）
【仕入数量】（～5桁）

■ 在庫

棚卸業務で、店舗の实在庫を読取り、理論在庫（POS）との比較や理論在庫調整を行います。

ハンディ業務メニュー	
1: 単品売	6: 出庫
2: 仕入	7: 単品
3: 在庫	8: HD-POS
4: 発注	9:
5: 入庫	0: 送信
F4: 削除	[C] 終了

【在庫】		0件
棚番	:[]]
コード	:	
数量	:	
F4: 削除	[M1] 戻る	[ENT] 確定

● 読取データ

【棚番】（～10桁）
【商品コード】（～13桁）
（金額）
【在庫数量】（～5桁）

■ 発注

発注したい商品を読み込み数量を入力してBCPOSへ反映させます。

ハンディ業務メニュー	
1: 単品売	6: 出庫
2: 仕入	7: 単品
3: 在庫	8: HD-POS
4: 発注	9:
5: 入庫	0: 送信
F4: 削除	[C] 終了

【発注】		0件
店舗CD	:[]]
コード	:	
数量	:	
F4: 削除	[M1] 戻る	[ENT] 確定

● 読取データ

【店舗コード】（4桁）
【商品コード】（～13桁）
（金額）
【発注数量】（～5桁）

ハンディ業務メニュー（概要-2）

■入庫

倉庫や、他店舗からの商品移動で入庫した商品を読み込み在庫数を増やします。
また、商品がどこから移動してきたかを記録します。

ハンディ業務 メニュー	
1: 単品売	6: 出庫
2: 仕入	7: 単品
3: 在庫	8: HD-POS
4: 発注	9:
5: 入庫	0: 送信
F4: 削除 [C] 終了	

[入庫]		0件
店舗CD:	[]	
コード:		
数量:		
M1] 戻る [ENT] 確定		

- 読取データ
 - 【店舗コード】 (4桁)
 - 【商品コード】 (~13桁)
 - (金額)
 - 【入庫数量】 (~5桁)

■出庫

店舗から、他店舗等へ商品移動で出庫した商品を読み込み在庫数を減らします。
また、商品をどこへ移動したかを記録します。

ハンディ業務 メニュー	
1: 単品売	6: 出庫
2: 仕入	7: 単品
3: 在庫	8: HD-POS
4: 発注	9:
5: 入庫	0: 送信
F4: 削除 [C] 終了	

[出庫]		0件
仕入先:	[]	
コード:		
数量:		
M1] 戻る [ENT] 確定		

- 読取データ
 - 【店舗コード】 (4桁)
 - 【商品コード】 (~13桁)
 - (金額)
 - 【出庫数量】 (~5桁)

■単品

一品物を扱う店舗での、棚卸等で在庫数量の入力が不要な店舗で使用します。

ハンディ業務 メニュー	
1: 単品売	6: 出庫
2: 仕入	7: 単品
3: 在庫	8: HD-POS
4: 発注	9:
5: 入庫	0: 送信
F4: 削除 [C] 終了	

[単品]		0件
追加CD:	[]	
コード:		
M1] 戻る [ENT] 確定		

- 読取データ
 - 【店舗コード】 (4桁)
 - 【商品コード】 (~13桁)
 - (金額)
 - (数量)

【POINT】

■ 在庫業務の流れ ■

- | | |
|---------------------------------|---------|
| ①実在庫をハンディターミナルで読込む | P-53-57 |
| ②ハンディターミナルのデータをBCPOSに転送し一次取込み | P-53-64 |
| ③一次取込みしたデータの修正 | P-67 |
| ④BCPOSの在庫（理論在庫）と、棚卸しの在庫（実在庫）を比較 | P-68 |
| ⑤棚卸しの在庫（実在庫）をBCPOSに反映 | P-69-71 |

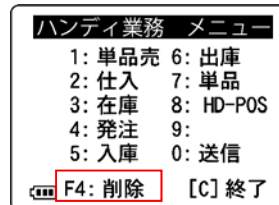
業務データの全件削除

ハンディターミナルでスキャンした業務データを削除する場合の手順及び、削除メニューの非表示設定方法。

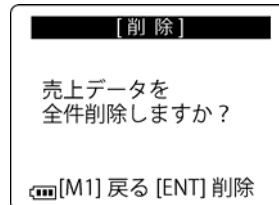
※新規で入力する場合は使用する前に前回のデータが残っている可能性があるため、データを消去して下さい。（データ消去しておかないと、今回入力したデータに前回のデータが含まれます。）
送信するとデータ削除されますが、念のため行って下さい。

■ ハンディターミナルのスキャンデータを全て削除します。

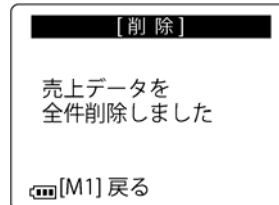
- ① ハンディ業務メニューTOP画面で、**F4** を押し
てください。



- ② 売上データを全件削除しますか?と聞かれますので、実行する場合は **ENT** 戻る場合は **M1** を押し
てください。
実行すると、デフラグ中ですと表示が変わります。

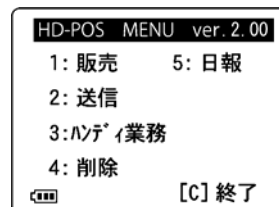


- ③ 売上データを全件削除しました。と表示され削除
が実行されました。

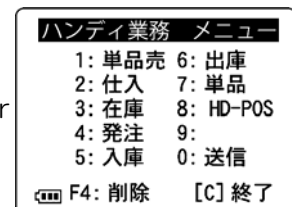


■ TOPメニューから削除メニューの表示を消します。（共通設定）

- ① TOP[MENU]の画面で、**F3** を5回押し
てください。



or

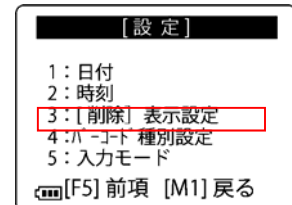
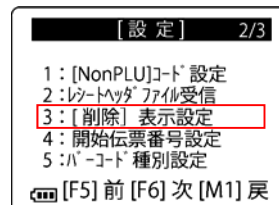


- ② HD-POSの場合、設定画面になりますので、**F6**
を押してください。

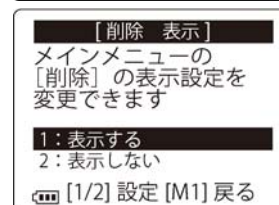


▽

- ③ **3** (削除表示設定) を押し
てください。



- ④ 「メインメニューの[削除]の表示設定を変更
できます」と表示されますので、表示させない
場合には **2** を、表示する場合には、**1** を押し
てください。



入力モード設定（各種業務）

各種ハンディ業務メニュー画面で数量・金額の入力が不要なものを非表示に設定する画面になります。

■ 入力モード設定

- ① TOP[MENU]の画面で、**F3** を5回押してください。

ハンディ業務 メニュー	
1: 単品売	6: 出庫
2: 仕入	7: 単品
3: 在庫	8: HD-POS
4: 発注	9:
5: 入庫	0: 送信
F4: 削除	[C] 終了

- ② 設定画面になります。
テンキーの **5** を押してください。

[設定]	
1: 日付	
2: 時刻	
3: [削除] 表示設定	
4: パーカット 種別設定	
5: 入力モード	
F5 前項	M1 戻る

- ③ 現在の入力モード状態を表示する画面になります。
設定を変更したい、業務メニューの番号を入力して設定してください。
以下設定例で解説します。

モード	数量	金額
1: 売上	有	有
2: 仕入	有	有
3: 在庫	有	無
4: 発注	有	無
5: 入庫	有	無
6: 出庫	有	無

例) 1: 売上の入力モードを変更する場合。

数量入力(有) 金額入力(有) を、数量入力(無) 金額入力(無) にする場合。

- ① 入力モード状態、表示画面で、**1** を入力します。

モード	数量	金額
1: 売上	有	有
2: 仕入	有	有
3: 在庫	有	無
4: 発注	有	無
5: 入庫	有	無
6: 出庫	有	無

- ② 「数量入力」モード設定画面になります。
無しにするので、テンキーの **2** を **ENT** 押してください。

[入力モード]	
入力モード	1 [売上]
1:	数量入力あり
2:	数量入力なし
F4	[1/2] 選択 [M1] 戻る

- ③ 「金額入力」モード設定画面になります。
無しにするので、テンキーの **2** を **ENT** 押してください。

[入力モード]	
入力モード	1 [売上]
1:	金額入力あり
2:	金額入力なし
F4	[1/2] 選択 [M1] 戻る

- ④ 数量入力(無) 金額入力(無) に、入力モードが変更されました。
以降、他の業務メニューも同様に設定してください。

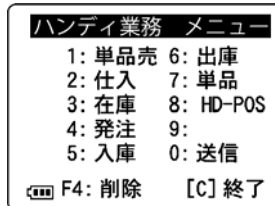
モード	数量	金額
1: 売上	無	無
2: 仕入	有	有
3: 在庫	有	無
4: 発注	有	無
5: 入庫	有	無
6: 出庫	有	無

バーコード識別設定

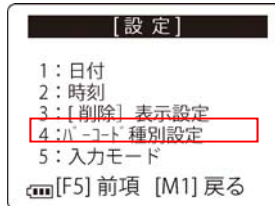
業務に合わせて、バーコードを読み取り時の出力設定をおこないます。

■ バーコード識別設定

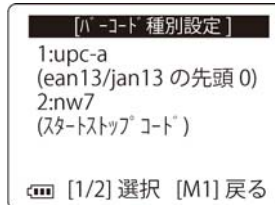
① TOP[MENU]の画面で、**F3** を5回押してください。



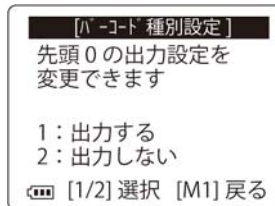
② 設定画面になります。
テンキーの**4**を押してください。



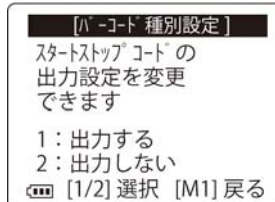
③ バーコード識別設定画面になりますので、設定したいバーコードの種類をテンキーで選択してください。



④ 1を選択した場合、upc-a、ean13/jan13の先頭の0を出力するかしないかの設定が可能ですので、テンキーで1or2を選択し、**M1**で戻ってください。



⑤ 2を選択した場合、スタートストップコードを出力するかしないかの設定が可能ですので、テンキーで1or2を選択し、**M1**で戻ってください。



日付・時刻設定（棚卸開始前に必ず行う）

ハンディターミナルとパソコンの日時を合わせることで、正確な棚卸業務が可能となります。

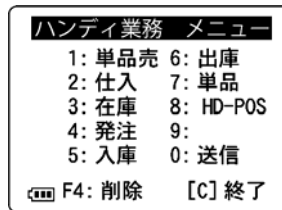
■ 参照時刻

デスクトップ画面右下の「時間」表示を参照して日時を正確に合わせます。
※秒単位については、下記「時刻合わせの必要性」をごらんになって頂き、判断してください。

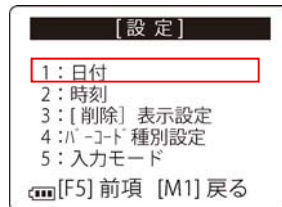


■ 日付設定

- ① TOP画面で、**F3**を5回押してください。



- ② 設定画面になります。テンキーの**1**を押してください。

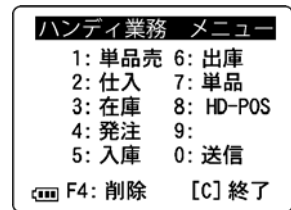


- ③ 日付設定画面になります。（西暦下2桁/月2桁/日2桁のyy/mm/dd表示。）
テンキーを使い現在日付を入力します。項目ごとに、**ENT**を押して決定します。

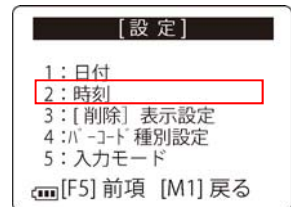


■ 時刻設定

- ① TOP画面で、**F3**を5回押してください。



- ② 設定画面になります。テンキーの**2**を押してください。



- ③ 日付設定画面になります。（西暦下2桁/月2桁/日2桁のyy/mm/dd表示。）
テンキーを使い現在日付を入力します。項目ごとに、**ENT**を押して決定します。



◆時刻合わせの必要性

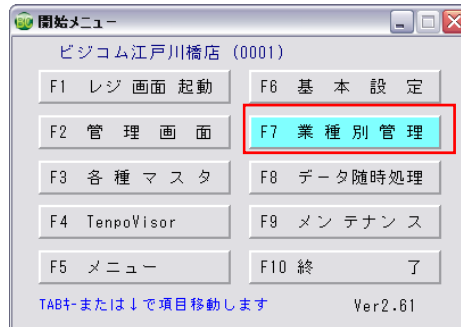
BCPOSの在庫管理オプションには、営業を行いながらの、棚卸しを行い販売された商品を調整する「差分調整」という機能があります。

こちらの機能を利用する（営業しながら棚卸しを行う）際には、在庫数を読取った時間と、在庫数を読取った後に販売された在庫数を調整する為に、BCPOSとハンディターミナルの時間が正確に合っている必要がございます。

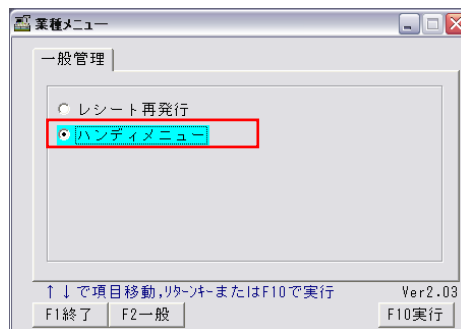
例) 在庫データ読取り-①

営業時間内に棚卸し作業を行う場合には、ハンディでのデータ読取りを行う前に、棚卸開始日時をBCPOSに記録する必要があります。

- ① BCPOS開始メニュー「F7 業種別管理」を押してください。

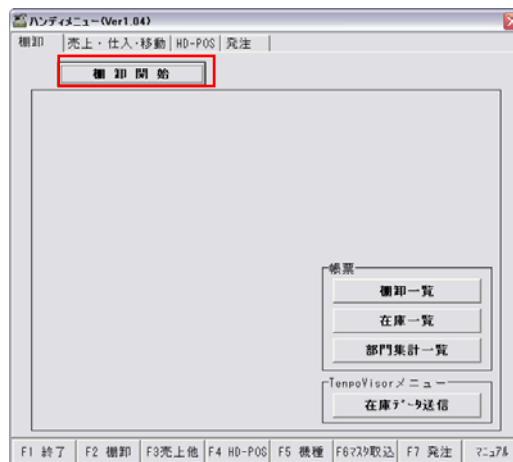


- ② 業種メニューが開きますので、「ハンディメニュー」を押してください。



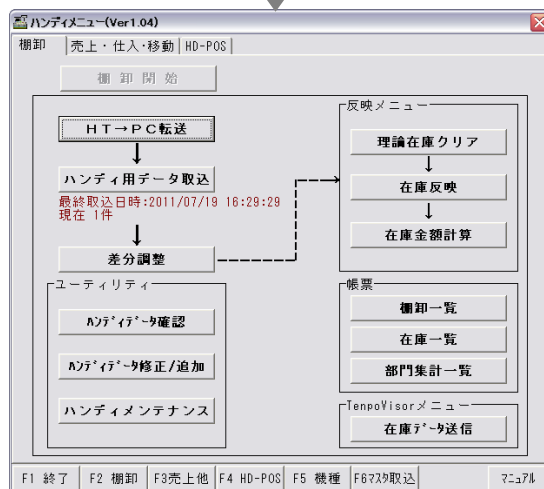
- ③ ハンディメニューより「棚卸開始」ボタンを押します。

これにより、BCPOSに棚卸し作業の開始時刻が記録され、これ以降に在庫数を読取った商品が販売された場合には、P-69「差分調整」で在庫数が調整されます。



「棚卸開始」を押すことで他のメニューが表示されます。

※棚卸業務が「在庫金額計算」の手順まで終わらないと、こちらの画面が表示された状態になります。「在庫金額計算」が終了すると、③の画面に戻ります。



例) 在庫データ読取り-②

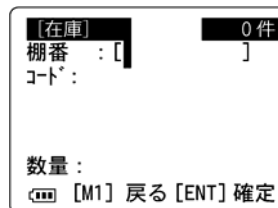
各種業務データの読取り、修正、削除、送信等は、基本的に全て同じ操作方法になります。在庫データの読取りを参照して頂き、他業務も同様の手順で操作を行ってください。

■ データの読取り

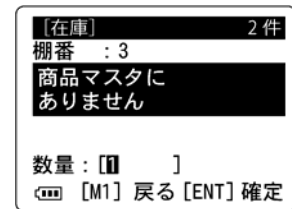
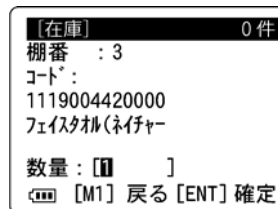
- ① ハンディ業務メニューTOP画面から、在庫業務を選択しますので、テンキーで **3** を押します。



- ② 在庫画面になります。
棚番を使用する場合には、棚番（～10桁）をスキャンまたは、入力して **[ENT]** を押してください。
棚番を使用しない場合には何も入力しないで、**[ENT]** を押して下さい。
次回以降は、同じ棚番（棚番不要）が入力され、商品コードを連続して読み込みます。
棚番を変更する際には、商品コードにカーソルが合わさっている時に、**[M1]** を押すと、棚番に移動しますので、変更してください。



- ③ 商品コードの読取り時に、商品マスタに無い商品を読込むと、右図のように「商品マスタにありません」と表示されますが、商品コード・数量の読み込みは可能です。



※BCPOSに商品コードが登録されていないデータの場合には、未登録データとして一覧表示できます。BCPOSのハンディメニュー→ハンディデータ修正/追加等で、取り込みが可能です。

【棚番について】

ハンディからPCへデータ転送した後で、棚番検索により確認及び削除が可能になります。

棚番は10文字までの英数字を入力可能です。

アルファベットを入力する場合は、ハンディ右下の「SF」を押してから携帯電話方式で入力して下さい。

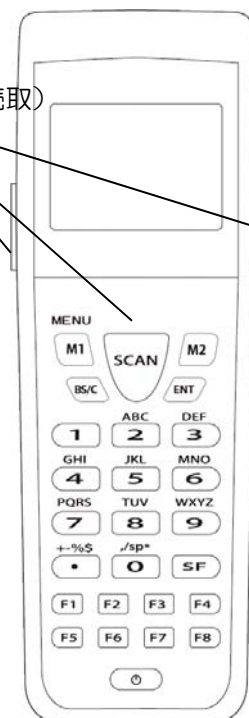
※「SF」を押すと画面左下に「ALP」と表示がでます、もう一度押すと解除できます。

※文字確定は「ENT」を押します。

※商品の読取件数について

最大999件まで読取可能ですが、安全のためある程度読取したら、PCへ転送する事をおすすめします。

スキャン
(バーコード読取)



例) 在庫データ読取り-③ (履歴順/修正・削除)

各種業務データの読取り途中等で、読取ったデータを修正したり削除をする場合のデータ呼び出し方法は、読取った履歴順にデータを表示して行く方法と、修正・削除を行いたい商品コードを読取って呼び出す方法の2種類があります。

■ 読取り履歴順にデータを表示後 (修正)

- ① コード：にカーソルがあたっている状態 (右図) で **F5** を押します。
- ② 在庫修正画面になります。
(一番最後に読取ったデータが表示されま。)
F5 ↑キーで、読取った過去にさかのぼります。
F6 ↓キーで、読取った現在に戻ります。
対象の商品コードで、数量の修正を行ってください
- ③ 修正作業が終了したら **M1** で、読取り画面に戻ります。

【在庫】	10件
棚番 : 3	
コード : [■]	
数量 :	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

【在庫】 (修正)	10件
棚番 : 3	
コード : 112300486000	
ピチソフ	
数量 : [5]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

【在庫】	10件
棚番 : 3	
コード : [■]	
数量 :	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

■ 読取り履歴順にデータを表示後 (削除)

- ① コード：にカーソルがあたっている状態 (右図) で **F5** を押します。
- ② 在庫修正画面になります。
(一番最後に読取ったデータが表示されま。)
F5 ↑キーで、読取った過去にさかのぼります。
F6 ↓キーで、読取った現在に戻ります。
対象の商品コードで、**F1** を押して下さい。
- ③ ブザー音と共に削除され、在庫画面になり、右上の入力件数が、10件から9件に減っています。

【在庫】	10件
棚番 : 3	
コード : [■]	
数量 :	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

【在庫】 (修正)	10件
棚番 : 3	
コード : 112300486000	
ピチソフ	
数量 : [5]	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

【在庫】	9件
棚番 : 3	
コード : [■]	
数量 :	
[M1] 戻る [ENT] 確定	

◆ 営業時間内の棚卸し (在庫読取りについて)

P-66「差分調整」は、営業中の棚卸しで在庫数を読取った後に、商品が販売されてしまった商品の在庫数調整を行います。同じ商品が2箇所以上にある場合には、最後に読取った時刻を基準として差分調整を行います。この為、同一商品が2箇所以上にある場合には、可能な限り同一時刻で読取る必要があります。

例) 在庫データ読取り-④ (読取り/修正・削除)

変更したい商品コードを読取って、商品呼び出し後に修正・削除を行います。

■ 商品を読取りデータを表示後 (修正)

- ① コード：にカーソルがあたっている状態 (右図) で **F4** を押します。

【在庫】	10件
棚番 : 3	
コード : [■]	
数量 :	
☞ [M1] 戻る [ENT] 確定	

- ② 在庫S修正画面になります。
対象の商品のバーコードを読取ってデータを読み出し、数量の修正を行ってください

【在庫】 (S 修正)	10件
棚番 : 3	
コード :	
112300486000	
ピ-チソ-ブ	
数量 : [5]	
☞ [M1] 戻る [ENT] 確定	

- ③ 修正作業が終了したら **M1** で、読取り画面に戻ります。

【在庫】	10件
棚番 : 3	
コード : [■]	
数量 :	
☞ [M1] 戻る [ENT] 確定	

■ 商品を読取りデータを表示後 (削除)

- ① コード：にカーソルがあたっている状態 (右図) で **F4** を押します。

【在庫】	10件
棚番 : 3	
コード : [■]	
数量 :	
☞ [M1] 戻る [ENT] 確定	

- ② 在庫S修正画面になります。
対象の商品のバーコードを読取ってデータを読み出し、**F1** を押してください。
ブザー音と共に削除されます。

【在庫】 (S 修正)	10件
棚番 : 3	
コード :	
112300486000	
ピ-チソ-ブ	
数量 : [5]	
☞ [M1] 戻る [ENT] 確定	

- ③ ブザー音と共に削除され、在庫画面になり、右上の入力件数が、10件から9件に減っています。

【在庫】	9件
棚番 : 3	
コード : [■]	
数量 :	
☞ [M1] 戻る [ENT] 確定	

例) 在庫データ読取り-⑤ (マイナス読取り)

商品コードを読取って数量をマイナスで入力する事で、後述の「差分調整」時に数量が差し引かれて登録されます。

■ データの読取り

① ハンディ業務メニューTOP画面から、行う業務をテンキーで選択します。

```

ハンディ業務 メニュー
1: 単品売 6: 出庫
2: 仕入 7: 単品
3: 在庫 8: HD-POS
4: 発注 9:
5: 入庫 0: 送信
☐ F4: 削除 [C] 終了
    
```

② 在庫画面になります。

```

【在庫】 0件
棚番 : [ ]
コード:

数量:
☐ [M1] 戻る [ENT] 確定
    
```

③ 修正したい商品のバーコードを読取ります。

```

【在庫】 0件
棚番 : 3
コード:
1119004420000
フェイス排(ネイチャー)
数量: [1]
☐ [M1] 戻る [ENT] 確定
    
```

④ 数量にカーソルがあたっている状態で **F3** を押して下さい。

(数量: **1**[]) から、(数量 **-1**[]) に変わります。

```

【在庫】 0件
棚番 : 3
コード:
1119004420000
フェイス排(ネイチャー)
数量: [1]
☐ [M1] 戻る [ENT] 確定
    
```

```

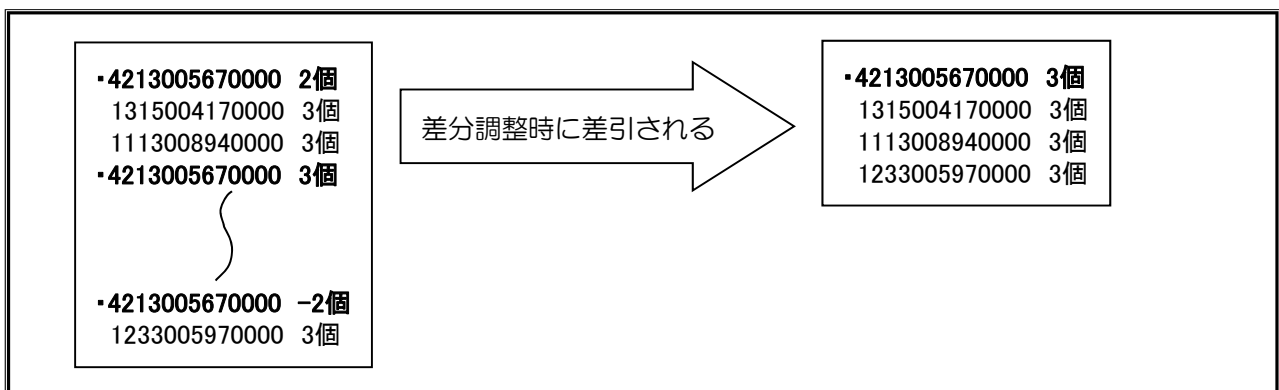
【在庫】 0件
棚番 : 3
コード:
1119004420000
フェイス排(ネイチャー)
数量 - [1]
☐ [M1] 戻る [ENT] 確定
    
```

変更したい数量を入力して **ENT** を押してください。

⑤ 読取り画面に戻ります。
通常の数量入力画面に戻ります。

```

【在庫】 1件
棚番 : 3
コード: [ ]
数量:
☐ [M1] 戻る [ENT] 確定
    
```



□データ転送・取込み・調整・反映□
(在庫偏)

BUSICOMTM

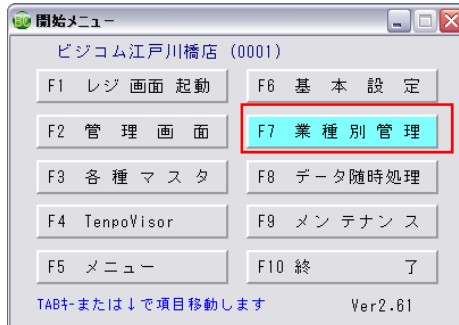
ハンディデータ転送-① (BCPOS)

HD-POSで行った業務データをBCPOSに転送するために「BCPOSハンディメニュー」画面を起動します。

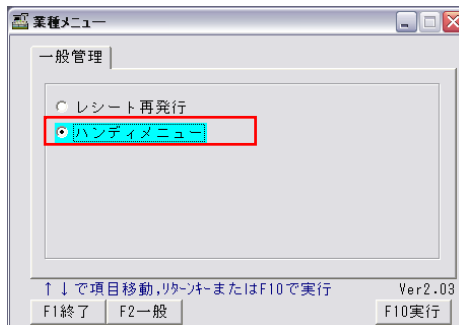
① HD-POSを、PCにUSB接続してください。



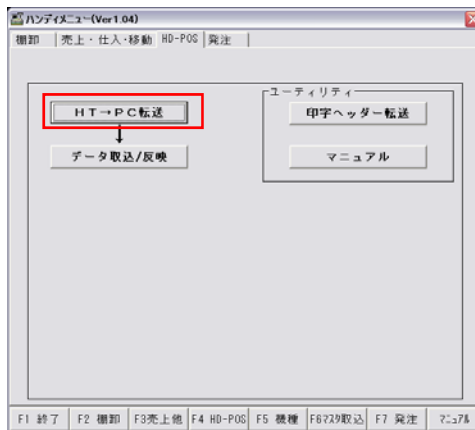
② BCPOS開始メニュー「F7 業種別管理」を押してください。



③ 業種メニューが開きますので、「ハンディメニュー」を押してください。



④ ハンディメニューの「HT→PC転送」ボタンを押してください。



各業務に合わせて、ハンディメニュー上部タブを選択してください。
在庫業務>棚卸タブを選択
売上(簡易)・仕入・入庫・出庫・単品>売上・仕入・移動タブを選択
全て業務メニューで、ハンディターミナルのデータをBCPOSに転送する作業は同じ手順となります。

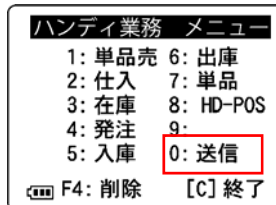
ハンディデータ転送-② (HDPOS)

HD-POSで行った業務データをBCPOSに転送します。
転送はBCPOSとHDPOS双方でほぼ同時に操作を行います。

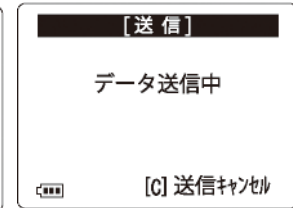
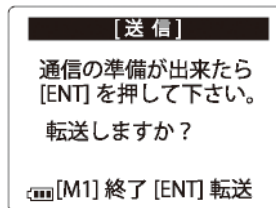
- ⑤ YMODEM受信中表示されます。
※受信処理は、30秒間開いています。
下記HD-POSデータ送信を行う前に画面が消えた場合には、再度HT→PC転送ボタンを押してください。



- ⑥ ハンディ業務メニューTOPから、送信を選択します。テンキーの **0** を押してください。

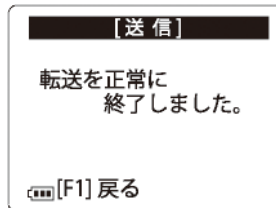


- ⑦ 転送しますか?と聞かれますので、**ENT** を押してください。データ送信中表示され転送が開始されます。



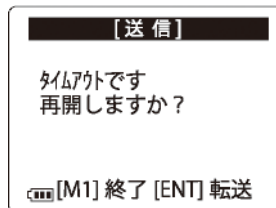
- ⑧ 転送を正常に終了いたしました。

以上でHD-POSからBCPOSへのデータ転送が終了です。
次項で、送ったデータをBCPOSに反映させます。



■ 転送エラー

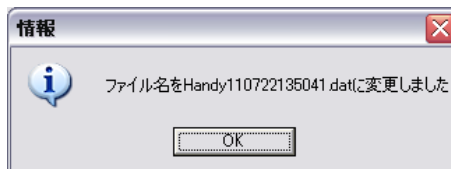
転送を正常に終了できない場合には、右図が表示されますので、原因を解明して、**ENT** を押して再度転送を行ってください。



転送終了表示 (BCPOS)

転送が終了した時点で受信したファイル名を「handy*****.dat」に変更しましたと表示されます。ファイル名を確認し「OK」を押します。
ファイル名は西暦下2桁月日時時刻の法則で作成されます。

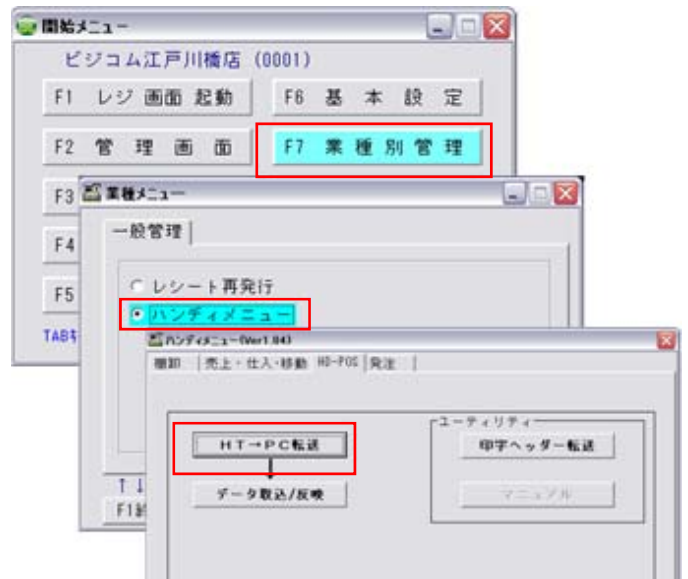
通常はC:→BCPOS→DATAフォルダに保存されます。



ハンディデータ再転送

1度ハンディターミナルからデータ転送すると同じ手順でデータを転送する事ができなくなります。(直前のデータを再転送したい場合は下記の方法で転送して下さい)

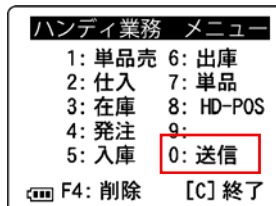
- ① BCPOS開始メニュー「F7 業種別管理」を押してください。
- ② 業種メニューが開きますので、「ハンディメニュー」を押してください。
- ③ ハンディメニューの「HT→PC転送」ボタンを押してください。



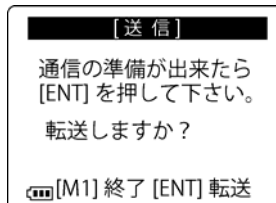
- ④ YMODEM受信中表示されます。
※受信処理は、30秒間開いています。
下記HD-POSデータ送信を行う前に画面が消えた場合には、再度HT→PC転送ボタンを押してください。



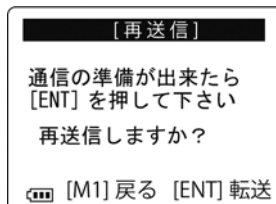
- ⑤ ハンディ業務メニューで、**0** を押してください。



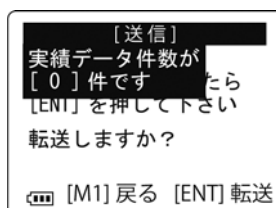
- ⑥ 送信画面になりますので、**F2** を押してください。



- ⑦ 再送信画面になります。
ENT で、再送信して下さい。



- 注) 送信画面で、**ENT** を押すと、「実績データが [0] です」と表示されてしまいます。

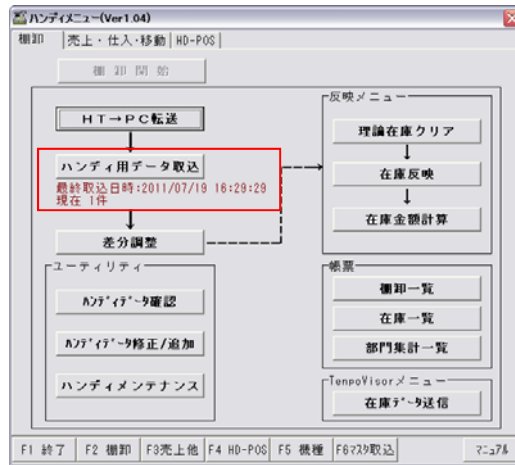


Point !
前回送信後に次のスキャンを始めていた場合でも「F2」を押すことで再送信画面になりますので、前回送信した時点のデータを再送信可能です。

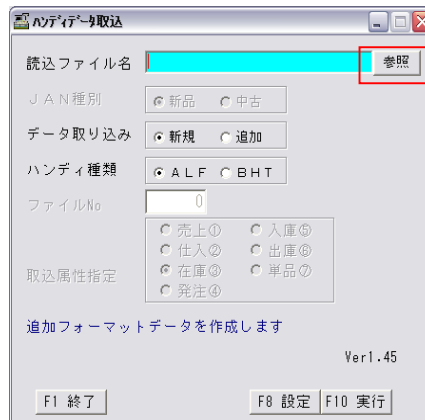
ハンディデータ取込み-① (BCPOS)

ハンディターミナルから転送されたデータを、BCPOSに取込みます。
(データを一時的に取り込んで、調整を行った後に反映させます。)

- ① ハンディメニューを表示します。
「ハンディ用データ取込」を押してください。

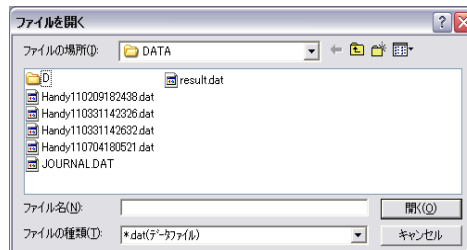


- ② 「ハンディ取込」が開きますので、「参照」をクリックして下さい。



- ③ 右の画面が表示されます。
「handy*****.dat」のファイル名から日付を判断して取込ファイルを選択してダブルクリックして下さい。

CASIO・DENSO以外の機種は
「zaiko*****.dat」



【POINT】

■ ハンディメニューの流れ ■

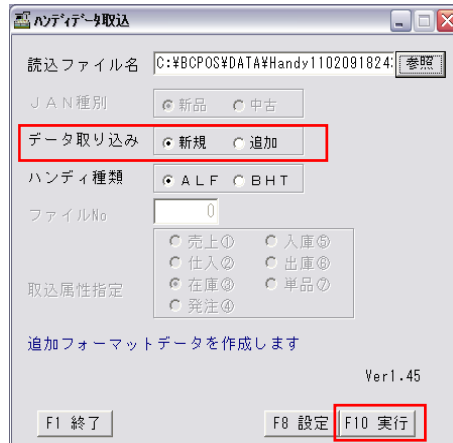
- | | |
|---------------------------------|---------|
| ①ハンディターミナルのデータをBCPOSに転送し一次取込み | P-62-64 |
| ②一次取込みしたデータの修正 | P-65-67 |
| ③BCPOSの在庫（理論在庫）と、棚卸しの在庫（実在庫）を比較 | P-68 |
| ④棚卸しの在庫（実在庫）をBCPOSに反映 | P-69-73 |

※これらの機能は、BCPOS「在庫管理オプション」をご利用の場合に利用できます。

ハンディデータ取込み-② (BCPOS)

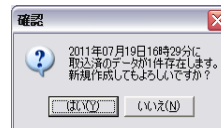
取り込むデータが、新規の棚卸しデータなのか、一連の棚卸しのデータなのかを設定します。

- ① 新規のデータ取り込みの場合は「データ取り込み」を「新規」として下さい。2台(回)目以降のデータを追加したい場合には「データ取り込み」を「追加」とします。



■新規の場合

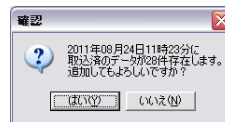
前回取込んだデータが残っている場合は、「新規作成してよろしいですか?」と表示されますが、よろしければ、「はい」を押して下さい。取込み作業が開始されます。



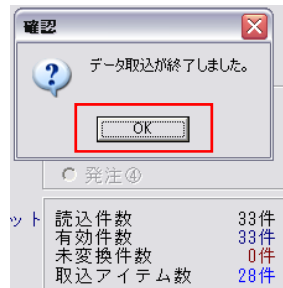
注意) ここで「新規」として実行してしまうと、それまでに取込んだデータは削除されてしまいます!

■追加の場合

前回取り込んだ日時が表示されます。よろしければ、「はい」を押して下さい。取込み作業が開始されます。

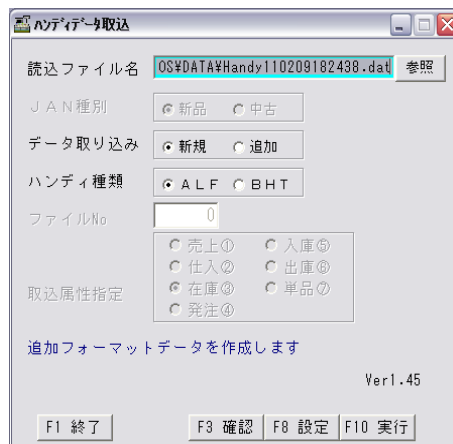


- ② 取り込みが終了すると「データ取込が終了しました。」のメッセージが表示されるのでOKを押す。



読込件数	33件
有効件数	33件
未変換件数	0件
取込アイテム数	28件

- ③ 全ての棚卸データの取り込みが終了したら、「F1 終了」を押して下さい。

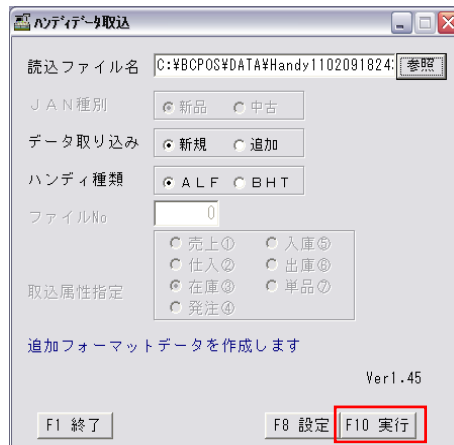


※こちらの機能は、BCPOS「在庫管理オプション」をご利用の場合に利用できます。

ハンディデータ取込み-③ (BCPOS)

棚卸データの取り込みで、未変換件数（未取込み）がある場合。

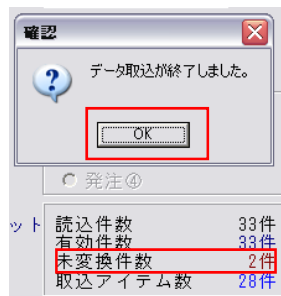
① データ取り込みを実行。



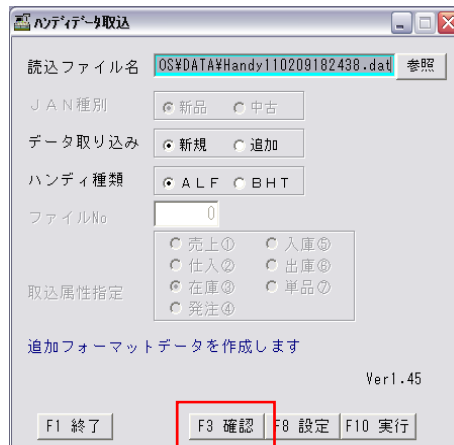
② 取り込みが終了すると「データ取込が終了しました。」のメッセージが表示されます。

この際に、未変換件数が表示されている場合。

OKを押して下さい。



③ 「ハンディデータ取込」画面が表示されます。「F3 確認」を押して下さい。



④ メモ帳が開き、未取込みデータが一覧表示されます。

表示された、未取込みデータを参照しながら処理してください。

例)

「商品マスタ未登録」と表示されているコードは、一覧のコードを参照しながらBCPOSの商品マスタに登録してください。

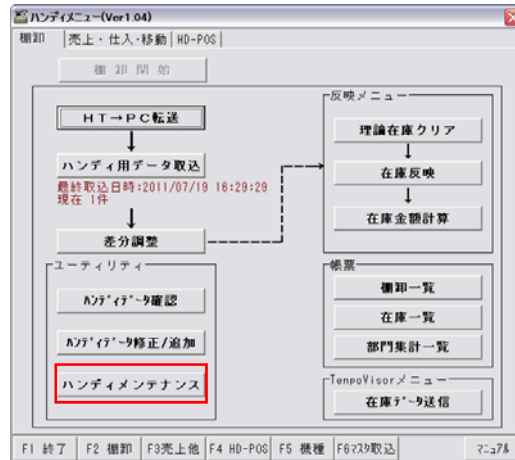


※こちらの機能は、BCPOS「在庫管理オプション」をご利用の場合に利用できます。

不要データの削除

データベースへ取り込んだ後で棚番（追加項目）毎に読み込みした商品を確認したり、商品コードや棚番（追加項目）で、範囲指定後に一括で削除することが可能です。棚卸する必要の無い棚を読み込んでしまったような場合に特定の棚の分を削除できます。

- ① ハンディメニューの「ハンディメンテナンス」を選択。



- ② ハンディメンテナンスが開きますので、条件を指定して「F10 実行」を押します。

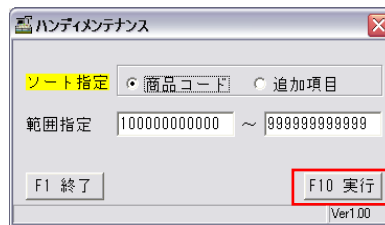
【ソート指定】

「商品コード」or「追加項目」を選択します。

【範囲指定】

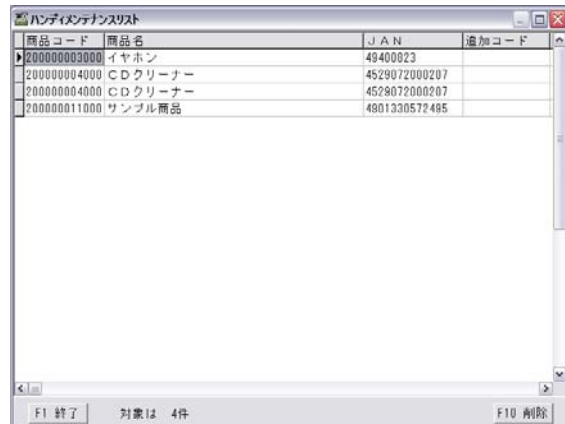
「商品コードの範囲」or「追加項目の範囲」

条件を指定して「F10 実行」を押します。

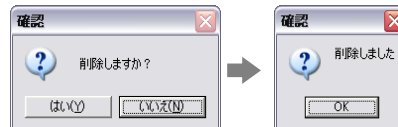


- ③ 画面に対象データが表示されます。

データ確認のみの場合は「F1 終了」を押します。
内容を確認し削除する場合は「F10 削除」を押して下さい。



- ④ 確認画面が表示されますので「はい」を押すと表示されたデータが削除されます。



※こちらの機能は、BCPOS「在庫管理オプション」をご利用の場合に利用できます。

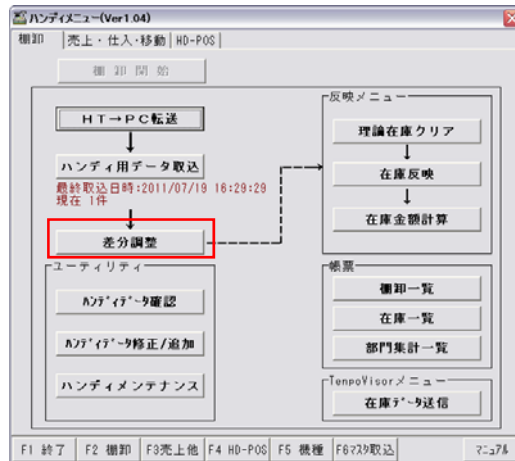
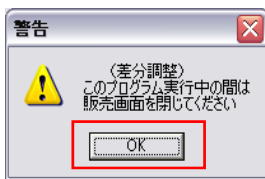
棚卸データ差分調整

営業しながら棚卸入力を行う場合、実棚数を入力した商品が後から販売される可能性があります。その場合、そのまま実在庫を反映させてしまうと誤差が生じてしまいますので、「差分調整」作業にてハンディで読取りした日時と販売された日時を比較して実棚数の自動調整を行います。

※営業中の棚卸ではない場合には「差分調整」は不要ですが、実行しても構いません。
※後述の棚卸手入力後に「差分調整」を行うと手入力分が削除されますのでご注意ください。

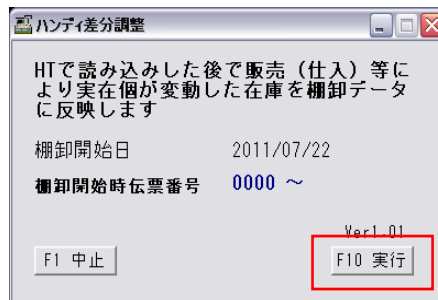
- ① ハンディメニューの「差分調整」を選択。

レジ販売画面を開いている場合は閉じてから「OK」を押します。



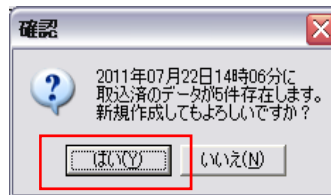
- ② 「棚卸開始」ボタンを押した時点の日付と伝票番号が表示されます。

表示内容に問題がなければ「F10実行」を押します。

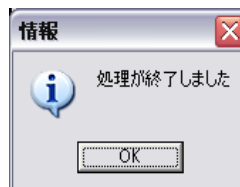


- ③ 前回棚卸を行った時点のデータが残っている場合は確認が表示されます。

日付をみて問題なければ「はい」を押します。



- ④ 終了表示が出たら「OK」を押して終了です。



※こちらの機能は、BCPOS「在庫管理オプション」をご利用の場合に利用できます。

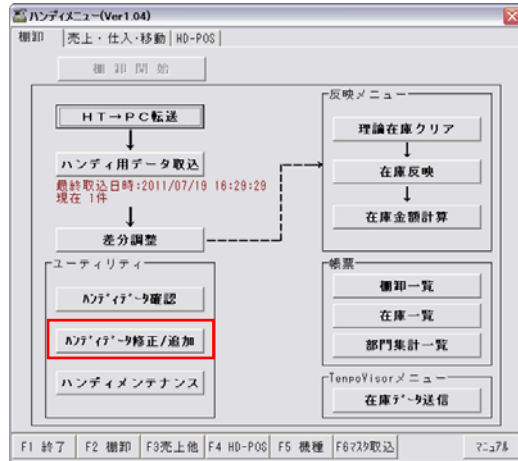
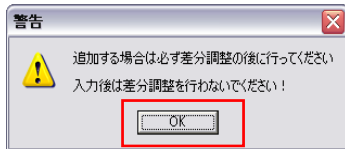
棚卸データ修正

データベースへ取り込んだ後に読取り忘れや、数量変更がある場合にハンディを使用せずに手入力で追加や数量の修正を行えます。

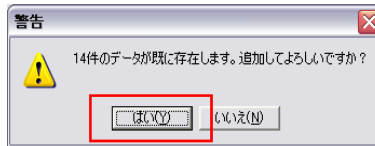
※「差分調整」が必要な場合はこの作業を行う前に済ませて下さい。

- ① ハンディメニューの「ハンディデータ修正/追加」を選択。

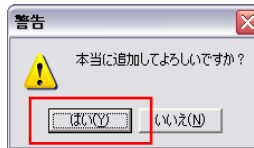
- ② 追加前に「差分調整」が済んでいるか、「差分調整」の必要が無い場合は「OK」を押して進んで下さい。



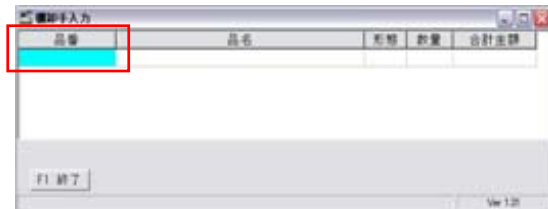
- ③ 右の画面が表示されます。これはハンディターミナルで先に取込みを行ったデータに対して追加/修正するか確認の為に表示されます。よろしければ、「はい」をクリック。



- ④ もう一度確認をしますので、再び「はい」をクリック。

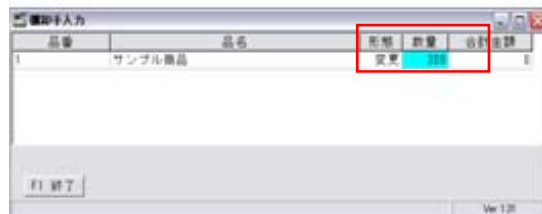


- ⑤ 品番の欄でコードをスキャンするか、コードを入力して下さい。
商品が表示されます。



- ⑥ 数量の欄へカーソルが移りますので、正しい数量を入力して下さい。(例:現在の数量が12だが、商品を2個読取りもれていたので2個追加したい場合は、数量に14を入力します)
▼マイナス入力も可能です。

入力終了しましたら、Enterボタンを2回押して下さい。



- ⑦ 行が改行されたらその商品の訂正作業が完了になります。

引き続き訂正したい場合は④～の手順を繰り返して下さい。

終わりましたら「F1終了」を押して下さい。

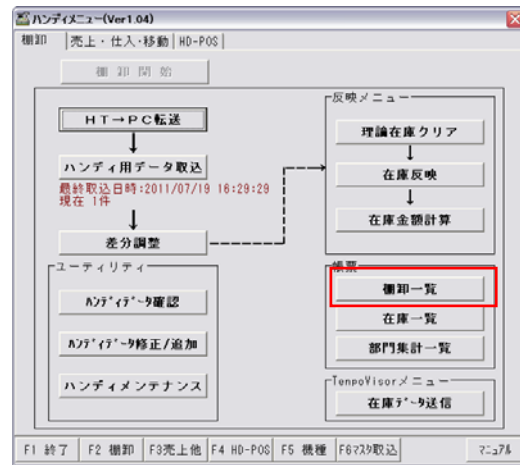


※こちらの機能は、BCPOS「在庫管理オプション」をご利用の場合に利用できます。

理論在庫と実在庫の比較

ハンディで読込んだ実在庫と、BCPOSの理論在庫を比較する「棚卸一覧」を表示します。

① ハンディメニューの「棚卸一覧」を選択。



② 棚卸一覧が表示されます。一覧表の表示条件を選択して「F10実行」をおしてください。

■「F8設定」について

「F8設定」を押すと、「表示条件設定」が開きます。

表示条件設定

スキャンしていない商品も差異表示する

しない する

スキャンした商品のみ表示する

しない する

F11 中止 F10 決定

「スキャンしていない商品も再表示する」を、「する」にした場合在庫数が「0」で表示され、理論在庫が残っている場合には、「在庫差異」にマイナス表示されます。設定が保持されますので変更する場合には、「F8設定」で、再度設定してください。



③ 「棚卸一覧」が表示されます。

- 理論在庫数
- 実在庫数
- 在庫差異
- 原価
- 原価×差異（在庫差異金額）
- 差異数の合計
- 差異金額の合計金額・・・等

が一覧表示されます。

※印刷・テキストでの保存が可能です。

在庫差異を見て、実在庫の修正を行いたい場合等は、前項の「棚卸しデータ修正」に戻ってください。

棚卸一覧 理論在庫、実在庫にマスタがないもの(空白)は在庫差異が出せません。

部門:全部 表示条件:全部 ソート順:商品コード 照合キー:商コード 仕入先:全部
 コード範囲:[220000000000~999999999999] 枝番:全部

実在庫=棚卸データの在庫 理論在庫=商品データの在庫

商品コード	JAN	メーカー名	商品名	理論在庫	実在庫	在庫差異	原価
220-000000-000		コウ	形状記憶 Yシャツ	15	14	-1	16
220-000001-000	4959127102608	クジ	紳士ジャケット ss/M	9	9	0	48
220-000002-000	45149276	クジ	Yシャツ 36/L	12	12	0	2
220-000002-002	4545648946153	クジ	紳士スラックス	7	6	-1	11
220-000002-003	4901301745279		紳士ベルト	5	5	0	12
220-000002-004	4994531231325		紳士セーター	8	8	0	4
220-000002-005	4514803184518		紳士コート ショート	1	1	0	15
220-000002-006	4901071227401	クジ	紳士コート ロング	6	6	0	22
220-000002-007	4987206033369	クジ	紳士カバン カジュアル	2	1	-1	80
220-000003-000	45149288		スラックス ONW/M/B	3	3	0	6
220-000003-001	4987033904016	クジ	紳士長靴	4	4	0	6
220-000003-002	4511413402535	クジ	子供スニーカー	6	6	0	11
220-000004-000	4945247876991		傘メンズ	18	16	-2	0
220-000005-000	4900008406515	クジ	マフラー	4	4	0	11
220-000007-000	4901480125237	クジ	手袋スエード	1	1	0	20
220-000010-000	4902210135519		Tシャツ	4	3	-1	1
220-203592-000	4901480070216		Tシャツ3/4バック	4	5	1	1
220-203806-000	4977584114855		紳士トレーナー	1	1	0	11
220-203901-000	4900049000020		紳士Tシャツ	4	0	-4	0

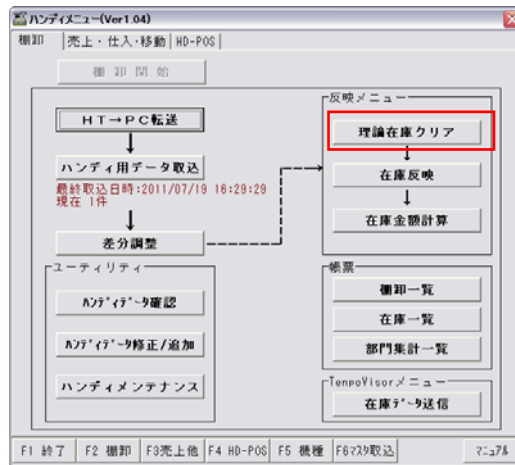
該当本数 1194 本 理論在庫計 176 本 実在庫計 105本 在庫差異計 -3本 差異金額計 -10850
 在庫管理フラグがOFFのデータは表示しません

※こちらの機能は、BCPOS「在庫管理オプション」をご利用の場合に利用できます。

実在庫の反映準備

ハンディで読取った実在庫を反映させる為に理論在庫を0にします。
ここで、理論在庫を0にしないと、実在庫が0で理論在庫が有る商品は、在庫数が残ったままになります。

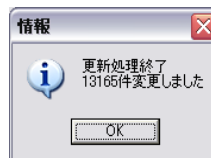
- ① ハンディメニューの「理論在庫クリア」を選択。



- ② 在庫一括変更が表示されますので、そのまま「F10実行」を押す。



右の画面が表示されたら終了です。



ハンディデータの反映・在庫金額の更新

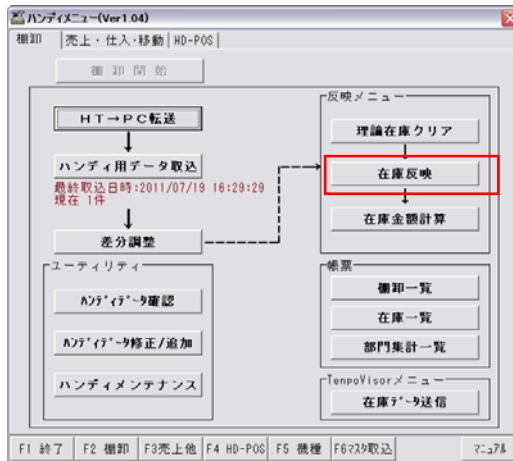
ハンディで読取った実在庫を反映させて、在庫金額を再計算します。

- ① ハンディメニュー「棚卸」の「在庫反映」を選択。

レジ画面が開いている場合は、レジ画面を閉じてから、やり直して下さい。



レジ画面を閉じている場合には「OK」を押して下さい。

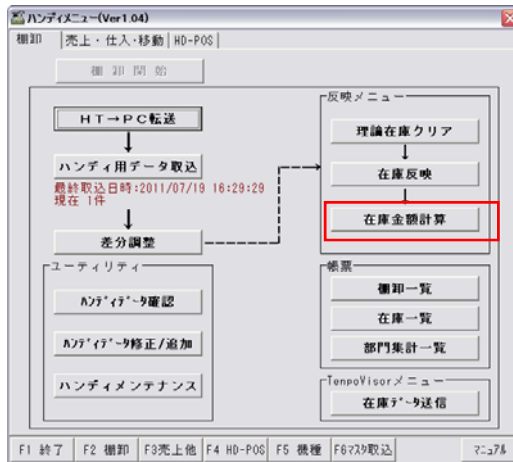


- ② 「ハンディデータ反映」が開きますので、取り込みファイルを「ハンディデータ」と、「在庫」にチェックし「F10実行」を押す。

※ハンディターミナルで取り込んだ実棚データがBCPOSへ反映されます。



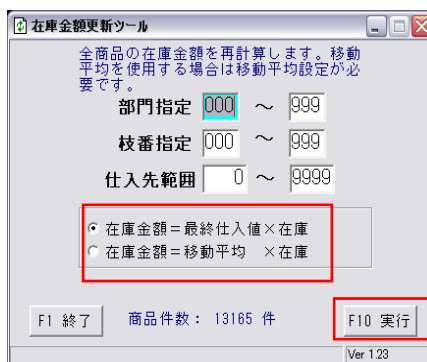
- ③ ハンディメニューの「棚卸」の「在庫金額計算」を選択。



- ④ 「在庫金額変換ツール」が開きます。計算する在庫金額の式をチェック。上段：最終単価法 下段：移動平均法 お店にあった方法を選択して下さい。

「F10実行」を押して下さい。

棚卸業務の終了です。



	最終単価法	移動平均法
在庫単価	商品マスタの仕入値	移動平均により計算した在庫単価
	仕入値の変動が無い場合に主に活用	仕入値の変動が有る場合に主に活用 適正な在庫単価による在庫金額の把握が可能

棚卸データのTenpoVisor送信

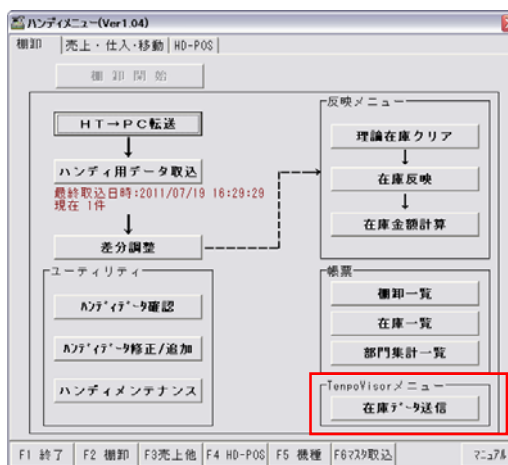
BCPOSで更新された在庫データを、本部管理システムのTenpoVisorに送信させる事で、店舗在庫を本部で正確に把握する事が可能となります。

※TenpoVisorをご契約いただいているお客様のみボタンが表示されます。

【POINT】

TenpoVisorはBCPOSで販売や仕入等を行ったジャーナル情報により在庫を更新する仕組みとなっておりますが、棚卸にて在庫を反映させた場合はジャーナル情報が記録されないため、手動にて現在の在庫データを送信する必要があります。

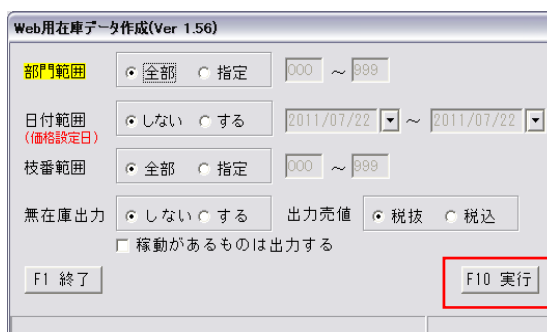
① ハンディメニューから「在庫データ送信」を選択。



② WEB用在庫データ作成が表示されます。

部門範囲「全部」
日付範囲「しない」
無在庫出力「する」
にチェックし、「F10実行」を選択。

※出力売値とはTenpoVisor在庫一覧の売価選択時に「店舗売価」を選択すると、今回出力したどちらかが表示されます。



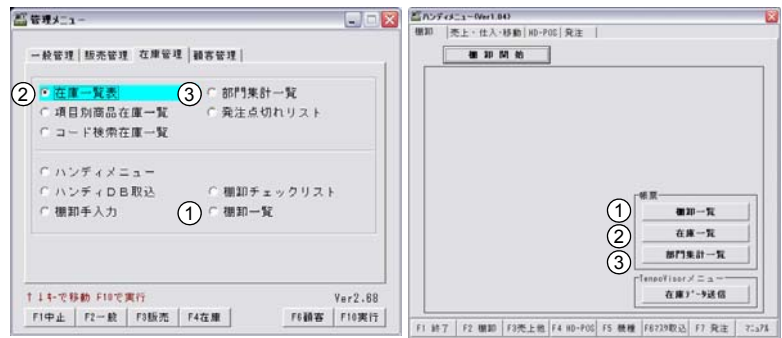
以上でBCPOSの在庫データがTenpoVisorに反映されます。

帳票関連-①

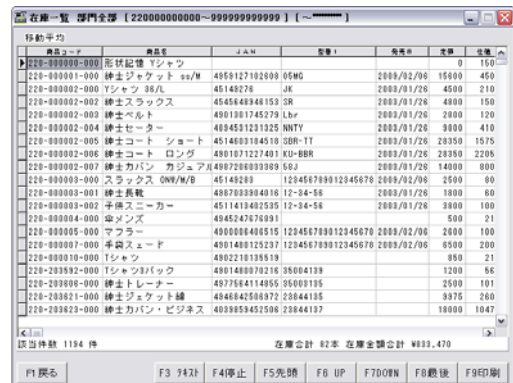
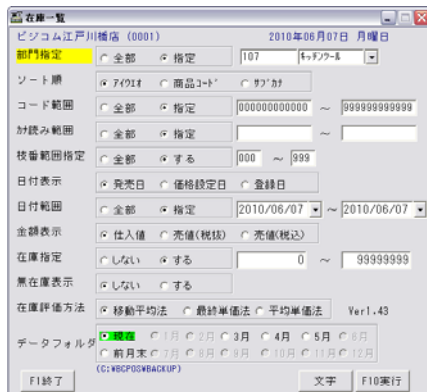
BCPOSの在庫管理オプションを利用する事で、在庫関連の各種帳票を出力する事ができます。

ハンディメニュー「棚卸」>「帳票」または、BCPOS「管理メニュー」>「在庫管理」から

下記、帳票の出力が可能です。



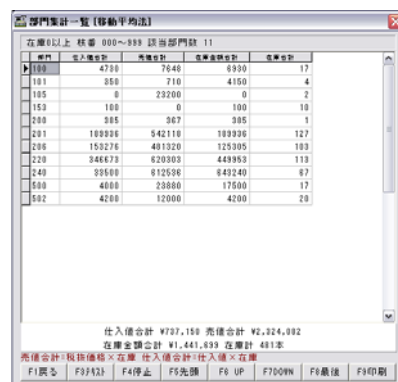
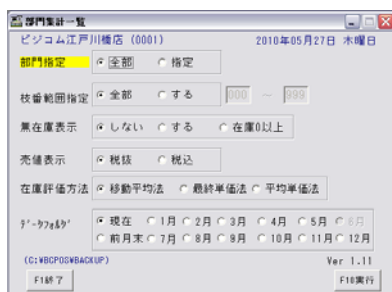
① 「在庫一覧」商品の在庫数、在庫金額を各条件指定をして帳票出力します。



② 「棚卸一覧」ハンディターミナルで読取った実在庫とBCPOSの理論在庫を比較して確認できます。



③ 「部門集計一覧」部門毎の在庫数、在庫金額を各条件指定して帳票出力します。



※こちらの機能は、BCPOS「在庫管理オプション」をご利用の場合に利用できます。

帳票関連-②

BCPOSの在庫管理オプションを利用する事で、在庫関連の各種帳票を出力する事ができます。

BCPOS「管理メニュー」>「在庫管理」から
下記、帳票の出力が可能です。



④ 「項目別在庫一覧」詳細な在庫一覧を見る為に、仕入先・メーカー・サブジャンルから在庫数を表示します。



商品コード	仕入先	商品名	仕入先	仕入先	仕入先	仕入先	仕入先	仕入先	仕入先
0100	基商								
22000001000	紳士ジャケット ss/半	3704*5	0667	00003	9	40500			
22000002000	Yシャツ 38/L	1*37*5XL	4000	48000	12	112100			
22000002002	紳士スラックス	37*9*5	4800	33600	7	10900			
22000002004	紳士ベルト	50	2500	12500	5	6000			
22000002004	紳士セーター	24C*1L	9200	73600	8	32900			
22000002005	紳士コート ショート		25000	25000	1	16750			
22000002006	紳士コート ロング		25000	150000	6	192000			
22000002007	紳士カバン カジュアル	50	14000	20000	2	16000			
22000003000	スラックス ONV/M/B	2005/01/01	2400	7200	3	2400			
22000003001	紳士長靴	26.5cm*24C*	1800	7200	4	2400			
22000003002	子供スニーカー	18.5*1L	3000	21000	6	6000			
22000004000	傘メンズ	傘*大	500	8000	16	16740			
★小計						474702	79	332400	
9310	台東貿易								
22000005000	マフラー	2009/01/01	2500	10000	4	7000			
22000007000	手袋スエード	2009/01/01	6000	6000	1	2000			
★小計									

⑤ 「発注点切れリスト」登録した数量を割り込んだ、在庫数を一覧表示します。



商品コード	商品名	JAN	型番1	型番2	登録日	仕入先	在庫
220-00000-000	形状記憶 Yシャツ	4559127102608 05MG			2010/05/27	100	2001
220-00002-000	Yシャツ 38/L	45148276 JK	487		2010/05/27	100	2001
220-00002-002	紳士スラックス	4545648946153 SR	251		2010/05/27	100	2001
220-00002-003	紳士ベルト	4801301745279 Lbr	1121		2010/05/27	100	6
220-00002-004	紳士セーター	489451231325 NNTV			2010/05/27	100	6
220-00002-005	紳士コート ショート	4514803184518 SBR-TT	487		2010/05/27	100	1
220-00002-006	紳士コート ロング	480171227401 KU-BBR	24		2010/05/27	100	6
220-00002-007	紳士カバン カジュアル	4807208033089 5BJ	14		2010/05/27	100	2
220-00003-000	スラックス ONV/M/B	1234567890123456 123456789			2010/05/27	100	5
220-00003-001	紳士長靴	4897033904016 12-34-56	7		2010/05/27	100	4
220-00003-002	子供スニーカー	451414025235 12-34-56	7		2010/05/27	100	6
220-00004-000	傘メンズ	4345247676881			2010/05/27	100	14
220-00005-000	マフラー	4800004406515 1234567890123456 123456789			2010/05/27	310	4
220-00007-000	手袋スエード	4801480125237 1234567890123456 123456789			2010/05/27	310	1
220-00010-000	Yシャツ	4802210195618			2010/05/27	2000	1
220-20392-000	Yシャツバック	4801480070216 35004189			2010/05/27		
220-20396-000	紳士トレーナー	4877564114666 35003135			2010/05/27		
220-20362-000	紳士ジャケット	4848945068972 23044195			2010/05/27		
220-20363-000	紳士カバン	ビジコム4839853452506 23044197			2010/05/27		

⑥ 「コード検索在庫一覧」各種コードから在庫数を一覧表示します。



商品コード	商品名	JAN	型番1	型番2
22000000000	形状記憶 Yシャツ			
22000001000	紳士ジャケット ss/半	4858127102608 05MG		
22000002000	Yシャツ 38/L	45148276 JK		48
22000002002	紳士スラックス	4545648946153 SR		25
22000002003	紳士ベルト	4801301745279 Lbr		1121
22000002004	紳士セーター	489451231325 NNTV		
22000002005	紳士コート ショート	4514803184518 SBR-TT		45
22000002006	紳士コート ロング	480171227401 KU-BBR		24
22000002007	紳士カバン カジュアル	4807208033089 5BJ		14
22000003000	スラックス ONV/M/B	45148283	1234567890123456789	11
22000003001	紳士長靴	4897033904016 12-34-56		7
22000003002	子供スニーカー	451414025235 12-34-56		7
22000005000	マフラー	4845247676881		
22000007000	手袋スエード	4801480125237 1234567890123456789		11

※これらの機能は、BCPOS「在庫管理オプション」をご利用の場合に利用できます。

□データ送信・取込み・調整・反映□
(売上・仕入・移動偏)

BUSICOMTM

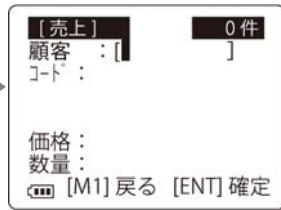
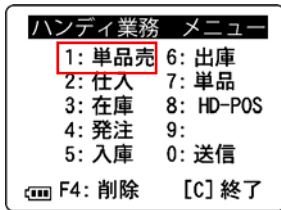
売上データの追加項目設定

売上業務の場合、商品コード行の上にある、追加コードを顧客コードとして扱うか、担当者として扱うかによって、設定を変更してください。

例-1) 売上の場合には、追加コードが顧客コードになっていますが、担当にする事で売上を立てたのが誰かをわかるようにします。

■単品売

小計・現計等の伝票単位を持たせていない、売上管理。スピーディーな対応の求められる売り場での利用等。(伝票単位での管理、小計や預かり、現計等は、HD-POS機能をご利用ください。)

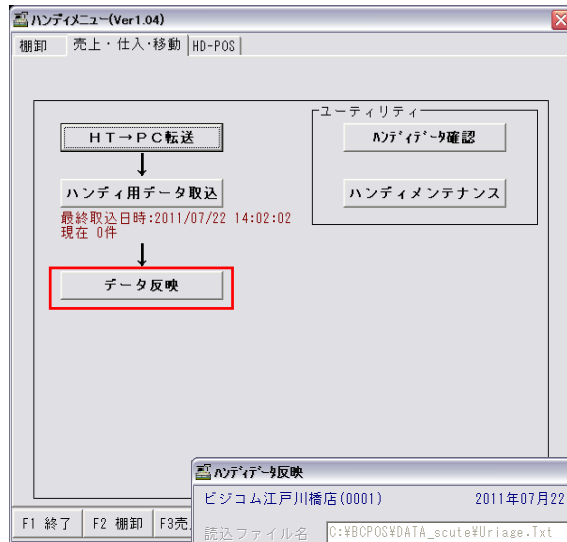
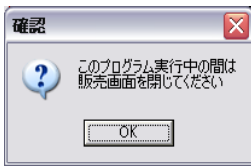


●読取データ

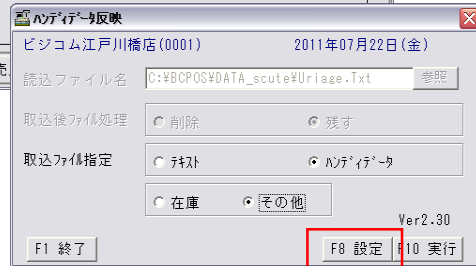
設定により、【顧客コード】または【担当者コード】
 【顧客コード】(10桁or6桁)
 ※6桁の場合は反映時に店舗コード4桁を付加して反映。
 【担当者コード】(1~5桁)
 反映時の設定で、1~5桁の担当者コードとして反映。
 【商品コード】(~13桁)
 【販売価格】(~6桁)
 【販売数量】(~5桁)

- ① 売上・仕入・移動の「データ反映」を押して下さい。

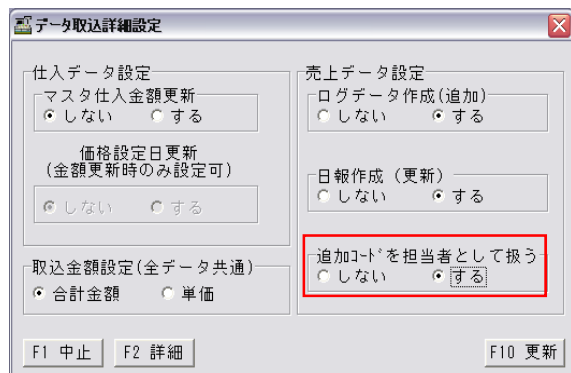
確認メッセージが表示されるのでレジ画面を閉じてからOKを押す。



- ② ハンディ反映が開きます。「F8設定」を押して下さい。



- ③ データ取込詳細設定が開きます。「追加コードを担当者として扱う」で、顧客コードの場合は「しない」、担当者コードの場合は「する」にチェックを入れて下さい。



売上・仕入・移動（データ取込み）

ハンディターミナルで行った、在庫以外の、売上・仕入・入庫・出庫・単品業務の取り込みは、「売上・仕入・移動」タブからBCPOSにデータを取り込みます。

■ハンディターミナルのデータをBCPOSへ転送する方法はP.62を参照して下さい。

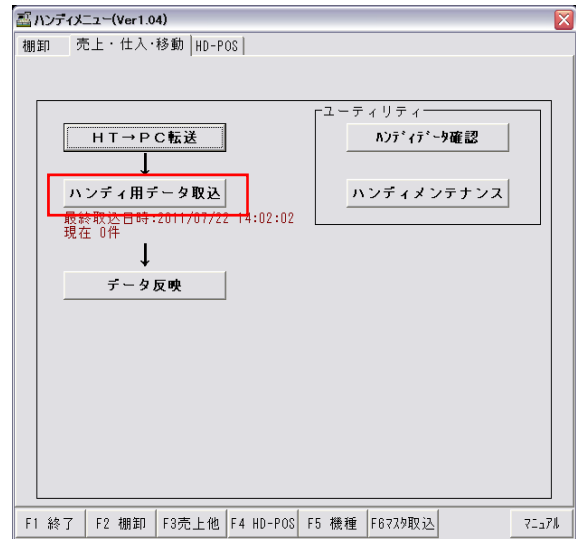
ハンディメニューから「売上・仕入・移動」をタブをクリック。

ハンディデータの転送はP.62を参照して下さい。

※ハンディ用データ取込・ハンディデータ確認は在庫OPをご契約のお客様のみ使用可能ですが、転送したファイル（テキスト）を直接取り込んで問題ありません。（取込み方法は、P-77を参照）

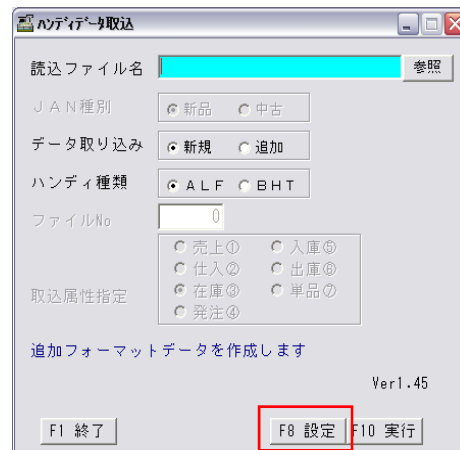
☆ハンディ用データ取込を行うメリット

- ・ハンディ側で金額を入力しなくてもBCPOSの商品マスタから金額を参照可能なのでハンディでの金額入力が不要
- ・ハンディで読取った商品の数量・金額を確認してから反映できるというものです。



①ハンディメニューより「ハンディ用データ取込」を選択。

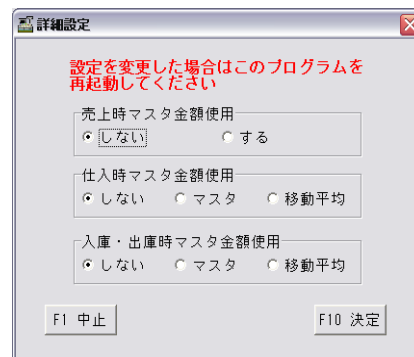
②ハンディデータ取込みが開きますので、「F8設定」を押して下さい。



③マスタの金額を使用する場合は「する」にチェックして下さい。

「仕入」、「入庫・出庫」については、個別に移動平均を使用するかマスタ金額を使用するかを選択し「F10決定」を押します。

※1度設定すれば変更しない限り有効

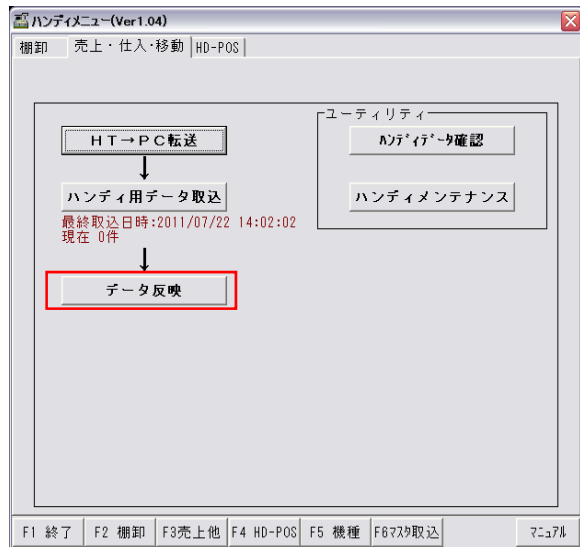
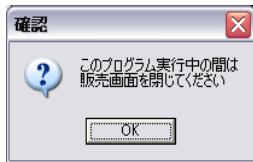


※これらの機能は、BCPOS「在庫管理オプション」をご利用の場合に利用できます。

売上・仕入・移動（ハンディデータの反映-①）

BCPOSに取り込んだデータを反映させます。

- ① ハンディメニューより「データ反映」を選択。
確認メッセージが表示されるのでレジ画面を閉じてからOKを押す。



- ② ハンディ反映が開きますので、「ハンディデータ」にチェックして下さい。



- ③ 次に、「その他」にチェックをいれて、「F10実行」を押して下さい。
処理が反映されます。ジャーナル点検等で反映されているか確認して下さい。



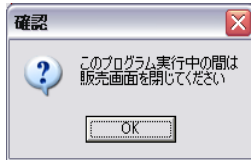
※これらの機能は、BCPOS「在庫管理オプション」をご利用の場合に利用できます。

売上・仕入・移動（ハンディデータの反映-②）

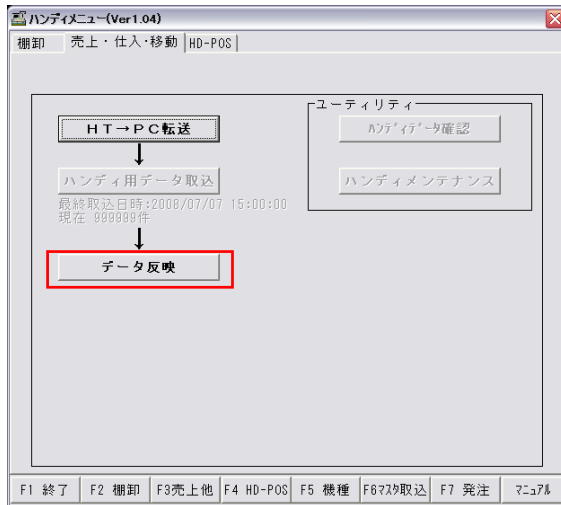
在庫管理オプションを利用されていない場合の、ハンディデータの反映方法。

■ハンディターミナルのデータをBCPOSへ転送する方法はP.61を参照して下さい。

- ① ハンディメニューより「データ反映」を選択。確認メッセージが表示されるのでレジ画面を閉じてからOKを押す。



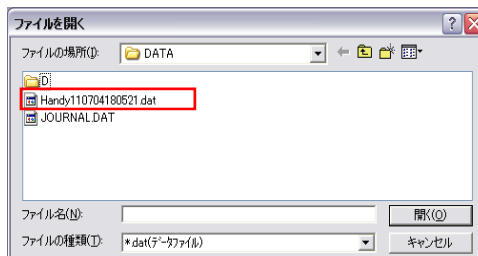
※在庫管理オプションをご利用でない場合には、利用できないメニューはマスキングされています。



- ② ハンディデータ反映が開きますので、「参照」をクリックして下さい。



- ③ 「ファイルを開く」の画面が表示されます。ファイルの種類を「datファイル」に変更して「handy*****.dat」をダブルクリックします。



- ④ 「F10実行」を押す。処理が反映されます。ジャーナル点検等で反映されているか確認して下さい。



NonPLU機能概要

■ PLUとNonPLUのコード体系について

商品にあらかじめ印刷されているJANコードには価格情報が含まれていません。これは同じ商品でもお店により販売価格が異なる場合や、販売価格のメンテナンスを行う事が安易な為です。POSシステム内にあらかじめ商品コードと単価のデータを打ち込んでおき、商品コードを読取るとその商品コードの価格データを探し出しています。この方法をPLU（プライス・ルックアップ）といいます。生鮮食料品のように重さごとに価格が変わったり、商品数が多く商品サイクルが短く価格がバラバラな物などは、バーコード内に商品毎の価格情報を入れておいた方が良い場合があります。バーコード内に価格情報を持たせる方をNonPLU（ノン・プライス・ルックアップ）といいます。

■ NonPLU機能について

BCPOSから「部門マスタ」と「仕入先マスタ」を転送して、マスタを持たせます。NonPLUバーコードには、部門コード・仕入先コード・金額を持たせ、NonPLUコードをスキャンした時に、指定桁と各マスタがマッチングした場合に、画面上とレシート印刷に部門名と仕入名、NonPLUバーコードに持たせた金額を出力します。

■ NonPLU画面

部門名 [みかん] 仕入先 [ビジコム菜園]
 価格: ¥350 NonPLUに持たせた金額
 数量: [1]

■ PLU画面

商品名 [crocband kissho] ルー
 価格: [2480] 商品マスタの金額
 数量: [1]

■ NonPLUレシート

(株) ビジコム BCPOS
 東京都文京区関口1-20-10
 住友不動産江戸川橋駅前ビル8F
 TEL: 03-5229-5190
 FAX: 03-5229-5193
 ご来店ありがとうございました。

-----販売-----
 11/07/07 15:30:05 No.0005
 会員番号: 0001000002 担当: 0001

0210110801002 (000NONPLU000)
 [みかん] [ビジコム菜園]
 2 @350 700
 0000007351200 (410000289001)
 お茶
 2 @150 300

仕入先
 NonPLUバーコードに持たせた金額

小計 ¥ 1,000
 値引き -100
 合計 ¥ 900
 お預り ¥ 5,000
 お釣り ¥ 4,100

■ PLUレシート

雑貨ビジコム 江戸川橋店
 東京都文京区関口1-20-10
 住友不動産江戸川橋駅前ビル
 TEL: 03-5229-5190
 FAX: 03-5229-5199
 -----販売-----
 12/06/14 19:15:40 No.0005
 会員番号: 0001123456 担当: 0002

商品名
 (400000267000)
 アンティークフォーク 5 @185 925
 (400000127035)
 アルティコースト 5 @125 625

商品マスタの金額

小計 ¥1,550
 合計 ¥1,550
 お預り ¥2,000
 お釣り ¥450
 [12345678901234567890]

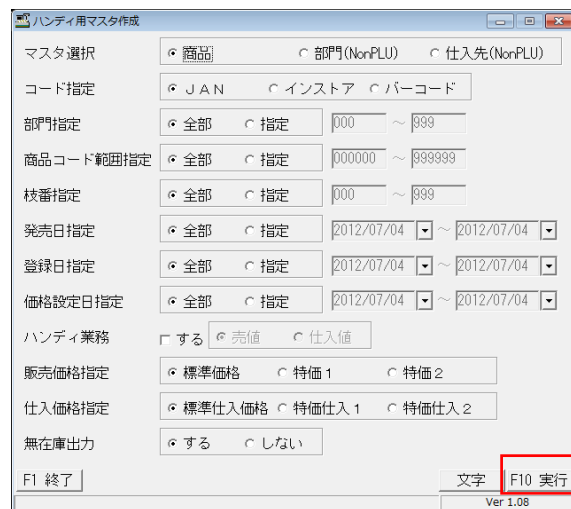
NonPLUマスタ作成 (BCPOS) -①

HD-POSで利用する商品マスタをBCPOSで作成します。

- ① ハンディメニューが開きます。
下部タブの「F6マスタ取込」を押してください。



- ② マスタ選択で、「部門(NonPLU)」または、「仕入先(NonPLU)」を指定して「F10 実行」を押してください。



- ③ 「部門(NonPLU)」または「仕入先(NonPLU)」の確認画面が表示されますので「F10 実行」を押してください。
「部門(NonPLU)」、「仕入先(NonPLU)」共に以降のマスタ作成を個別に行う必要がございます。

■ 部門データの場合



■ 仕入先データの場合



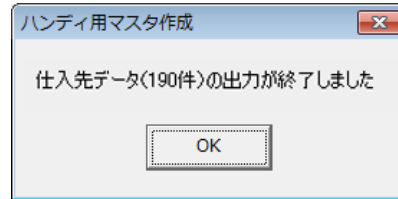
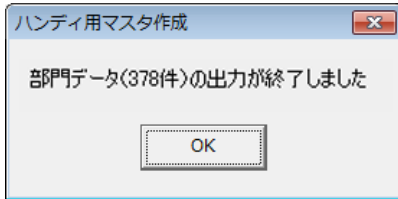
NonPLUマスタ作成 (BCPOS) -②

HD-POSで利用する商品マスタをBCPOSで作成します。

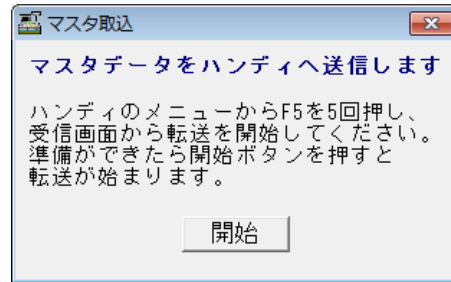
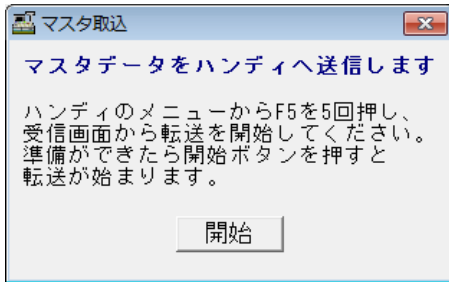
■ 部門データの場合

■ 仕入先データの場合

- ④ ハンディ用マスタ作成と表示されますので「OK」を押してください。



- ⑤ マスタ取り込み画面が開きますので「開始」を押してください。



- ⑥ YMODEM送信中と表示されます。
※送信処理は、30秒間開いています。
次項、HD-POSデータ受信を行う前に画面が消えた場合には、②～④の手順を繰り返してください。



30秒の間に、次項のハンディターミナルの「商品マスタ受信」の実行が必要です。

■ 部門マスタフォーマット

ファイル名称	部門(品名)マスタ		変更履歴		
ファイルID	Genre.dat		構造体		
No.	項目名	ID	タイプ	桁数	備考
	部門コード		9	3	部門コード
	部門名		X	20	部門名
	改行		X	2	CR/LF

■ 仕入先マスタフォーマット

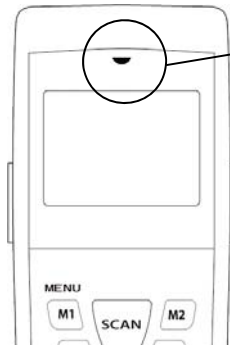
ファイル名称	仕入先(生産者)マスタ		変更履歴		
ファイルID	Siire.dat		構造体		
No.	項目名	ID	タイプ	桁数	備考
	仕入先コード		9	4	仕入先コード (右詰め左0埋め)
	仕入先名		X	20	仕入先名
	改行		X	2	CR/LF

部門・仕入先マスタ共に最大999レコード

NonPLUマスタ受信 (HD-POS)

BCPOSで作成した商品マスタをHD-POSで受信します。

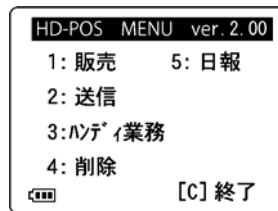
- ① HD-POSとパソコンをUSBケーブルで接続してください。



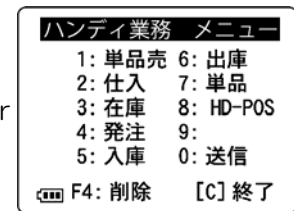
USBケーブルが接続されると、上部のランプが点灯します。



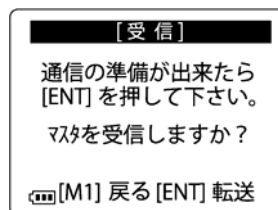
- ② HD-POSのTOPメニューから、**F5** を5回押してください。



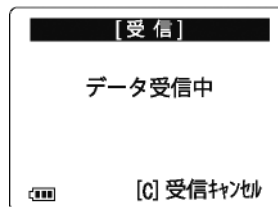
or



- ③ 受信画面になります。
前項のBCPOSのマスタ作成手順の準備ができたなら **ENT** を押してください。

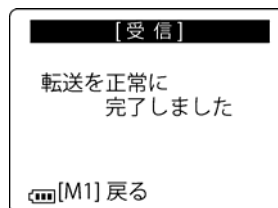


- ④ データ受信中表示され受信が開始されます。



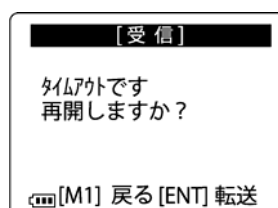
- ⑤ 転送を正常に完了しました。

以上でパソコンからHD-POSへのマスタ転送が終了です。



□ 転送エラー □

受信を正常に終了できない場合には、右図が表示されますので、原因を解明して、**ENT** を押して再度受信を行ってください。



NonPLU設定

HD-POSではシステム上、先頭コード2桁を識別してNonPLU商品と判断します。

NonPLU識別
番号設定

[NonPLUコード 設定]

1: 使用します [1]
識別1[02], 開始[9]桁
 識別2[], 開始[]桁
 識別3[], 開始[]桁
 [0/1] 設定 [M1] 戻る

金額開始
桁数設定



0210110803502

識別コード | 仕入コード | チェックデジット(C/D)

部門コード | 金額

① HD-POSのTOP画面で、**F3** を5回押してください。

ハンディ業務 メニュー

1: 単品売 6: 出庫
 2: 仕入 7: 単品
 3: 在庫 8: HD-POS
 4: 発注 9:
 5: 入庫 0: 送信
 [F4]: 削除 [C] 終了

>

[NonPLUコード 設定]

パターン1 使用します []
 識別コード []
 部門開始 []桁, 長 []
 仕入開始 []桁, 長 []
 金額開始 []桁
 印 無=0, 部=1, 金=2[2]
 [0/1] 設定 [M1] 戻る

② 設定画面になりますので、**F6** を押してください。
 次項へ進みますので、**1** (NonPLUコード設定) を押してください。

[設定] 1/3

1: 会社コード
 2: 店舗コード
 3: 日付
 4: 時刻
 5: BlueTooth 機器検索 []
 [F6] 次項 [M1] 戻る

>

[設定] 2/3

1: [NonPLU]コード設定
 2: レシートヘッダ ファイル受信
 3: [削除] 表示設定
 4: 開始伝票番号設定
 5: パーコード 種別設定
 [F5] 前 [F6] 次 [M1] 戻

③ 「NonPLUコード設定」画面になります。
 設定画面は、**ENT** を押す度に、次項に進みます。
 設定する場所にカーソルを合わせてBCPOSの運用に合わせた設定値を入力してください。

[NonPLUコード 設定]

パターン1 使用します [1]
 識別コード [02]
 部門開始 [3]桁, 長 [3]
 仕入開始 [6]桁, 長 [3]
 金額開始 [9]桁
 印 無=0, 部=1, 金=2[2]
 [0/1] 設定 [M1] 戻る

■パターンについて

NonPLUコード設定は、3種類もてます。

ENT を押して設定が進み、印字設定「印」の設定が終了すると、次画面でパターン2が表示されます。

[NonPLUコード 設定]

パターン1 使用します [1]
 識別コード [02]
 部門開始 [3]桁, 長 [3]
 仕入開始 [6]桁, 長 [3]
 金額開始 [9]桁
 印 無=0, 部=1, 金=2[2]
 [0/1] 設定 [M1] 戻る

>

[NonPLUコード 設定]

パターン2 使用します [2]
 識別コード [20]
 部門開始 [3]桁, 長 [2]
 仕入開始 [5]桁, 長 [4]
 金額開始 [9]桁
 印 無=0, 部=1, 金=2[2]
 [0/1] 設定 [M1] 戻る

>

[NonPLUコード 設定]

パターン3 使用します [3]
 識別コード [21]
 部門開始 [3]桁, 長 [2]
 仕入開始 [5]桁, 長 [2]
 金額開始 [9]桁
 印 無=0, 部=1, 金=2[2]
 [0/1] 設定 [M1] 戻る

>

[NonPLUコード 設定]

パターン1 使用します [1]
 識別コード [02]
 部門開始 [3]桁, 長 [3]
 仕入開始 [6]桁, 長 [3]
 金額開始 [9]桁
 印 無=0, 部=1, 金=2[2]
 [0/1] 設定 [M1] 戻る

■ 印 無=0,部=1,金=2 (レシート印字設定)

レシートへの印字設定となります。末尾の [] 内

部門 (製品名や品目名) の表示・非表示

仕入先 (メーカーや生産者名) の表示・非表示

※P-79のNonPLUレシート見本を参照

部門+仕入印字無し=0

部門のみ印字 =1

部門+仕入印字有り=2

[NonPLUコード 設定]

パターン1 使用します [1]
 識別コード [02]
 部門開始 [3]桁, 長 [3]
 仕入開始 [6]桁, 長 [3]
 金額開始 [9]桁
 印 無=0, 部=1, 金=2[2]
 [0/1] 設定 [M1] 戻る

■ 部門開始・仕入開始・金額開始

上記、コードの読取開始設定については、BCPOSの設定に合わせる必要があります。

※NonPLU設定は、BCPOSの設定と関連が深いのでビジコムまでご相談ください。

サポート

■ 電話サポート無料

ビジコムでは平日の10時から18時まで電話などによるサポートを受け付けています。電話窓口によるサポートにおいては一切費用をいただいております。当社の営業時間であればいつでも電話などでサポートさせていただきます。

インストールや操作方法などに関するお問合せ、HD-POS使用上のトラブルなどを受け付けております。

株式会社ビジコム カスタマーセンター

TEL 0827-2-5130

営業時間 平日10:00~18:00
(土・日・祝および営業時間外のサポートはお受けできません)

E-Mail support@busicom.co.jp

HD-POSユーザズガイド (BCPOS)
初版 2011年11月 (ver1.0)
第3版 2013年 9月 (ver2.0)

株式会社 ビジコム

WEB : <http://www.busicom.co.jp/>

Mail : info@busicom.co.jp